Panasonic®

取扱説明書 基本ガイド

パーソナルコンピューター

品番 CF-T5 シリーズ

紙で見る（もくじ：3ページをご覧ください）

はじめに読む	『**取扱説明書 準備と設定ガイド**』最初に「付属品の確認」で付属品を確認してください。
次に読む	『**取扱説明書 基本ガイド**』(本書)
必要なときに読む	『**取扱説明書 基本ガイド**』(本書)**の「困ったとき」** 『**取扱説明書 Windows Vista™ Business入門ガイド**』/『**取扱説明書 無線LAN接続ガイド**』(機種によっては付属していない場合があります)

画面で見る（もくじ：7ページをご覧ください）

『操作マニュアル』/『困ったときのQ&A』

インターネットやセキュリティ、バッテリーなど、本機をより活用するための機能を説明しています。また、使用上のトラブルなどについて、原因や解決方法も説明しています。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックして表示できます

『内蔵モデムコマンド一覧』
『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』
『ネットセレクター 2の使い方』

表示方法は23ページをご覧ください

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックパーソナルコンピューターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(12～16ページ) を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 製品の品番は、本体底面の品番表示または「仕様」でご確認ください。

安全上のご注意
はじめに
使ってみる
困ったとき
仕様一覧
お問い合わせの前に
さくいん

レッツノートでできること

バッテリーの長寿命/長時間駆動！

	エコノミーモード(ECO)	
	無効	有効
おすすめの使いかた	モバイル派 持ち歩いて使う	デスク派 ほとんどの時間ACアダプターに接続して使う
駆動時間	長い	短い
耐久年数	短い	長い

バッテリーの長寿命/長時間駆動を切り替える

➜ 『操作マニュアル』「（バッテリー）」の「バッテリーパックの劣化を抑える」

画面上のアイコンなどを拡大表示！

●ズームビューアー搭載

➜ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の一部を拡大表示する」

無断使用防止にパスワードが設定できる！

●各種パスワード設定

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

映像・音楽・データ交換などが手軽に楽しめる！

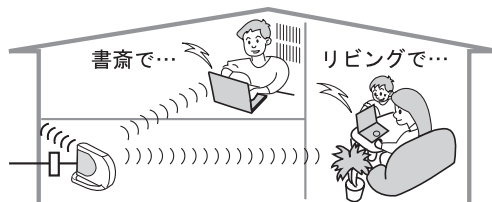
●SDメモリーカードスロット搭載

➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」

ワイヤレスでブロードバンドが楽しめる！

●無線LAN機能搭載（IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g準拠）

無線LANをお使いになる前に、無線LAN切り替えスイッチを確認してください。(➜ 24ページ)

➜ 『操作マニュアル』「（無線LAN）」

インターネットへの接続方法もいろいろ！

●電話回線、LAN、無線LANの利用 ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット）」

ウイルスから守る！

●「セキュリティセンター」機能の利用 ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「セキュリティセンター」

●セキュリティ設定ユーティリティ ➜ 36ページ

●ウイルス対策ソフト ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「ウイルスの感染を防ぐ」

●Windows Update/パナソニック PCのホームページ などの利用

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windowsを最新の状態にする」

もくじ

本機を安全・快適に、そして便利に活用していただくために、次の説明書を用意しています。

『取扱説明書 準備と設定ガイド』 はじめに必ずお読みください。	・初めてお使いになるとき（ご使用前の準備・設定や付属品の確認） ・消耗品、別売り商品、アフターサービスについて知りたいとき
『取扱説明書 基本ガイド』（本書）	・基本操作や仕様などの情報を知りたいとき ・困ったとき（画面で見るマニュアルが見られない場合）
画面で見る 『操作マニュアル』と『困ったときのQ&A』	・本機の機能・操作・活用方法を知りたいとき ・セキュリティ機能について知りたいとき　・困ったとき

● 安全上のご注意

● はじめに

● 使ってみる

もくじ

● 困ったとき

● 仕様一覧

もくじ

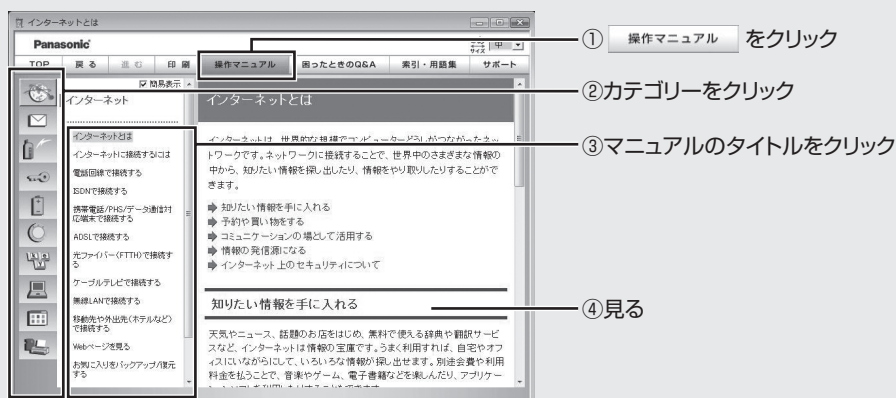
● お問い合わせの前に

● さくいん

さらに詳しい情報は
画面で見る『操作マニュアル』をご覧ください。➜ 次ページ

画面で見る『操作マニュアル』

本機の機能詳細・操作・活用方法やセキュリティ機能について知りたいときにご覧ください。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

TOP メニュー

本機の機能や活用方法を調べる
使用時のトラブルの解決方法を調べる
用語集・索引で探す
商標・表記について
電子マニュアルの使い方

インターネット

インターネットとは
インターネットに接続するには
電話回線で接続する
ISDN で接続する
携帯電話 /PHS/ データ通信対応端末で接続する
ADSL で接続する
光ファイバー（FTTH）で接続する
ケーブルテレビで接続する
無線 LAN で接続する
移動先や外出先（ホテルなど）で接続する
Web ページを見る
お気に入りをバックアップ / 復元する
ネットセレクター 2 を使う
インターネットに接続できない場合
Internet Explorer のヘルプを見る

電子メール

Windows メールの設定をする
メールを作成 / 送信する
メールを受信する
迷惑メール対策をする
アドレス帳（Windows アドレス帳）を使う
メールのデータをバックアップ / 復元する
アドレス帳をバックアップ / 復元する
Windows メールのヘルプを見る

無線 LAN

『取扱説明書 無線 LAN 接続ガイド』について
無線 LAN とは
使用上のお願い
無線 LAN の電源を入れる / 切る
IEEE802.11a の有効 / 無効を切り替える
電波の状態を確認する
接続の設定をする
本機の暗号化の設定を変える
パソコン間でデータをやり取りする
外出先で使う
うまく接続できないときは

セキュリティ

セキュリティについて
ステップ別セキュリティ設定
セキュリティセンター
Windows を最新の状態にする
スパイウェアから個人情報を守る
ウイルスの感染を防ぐ
Windows ファイアウォールを使う
ユーザーアカウント /Windows パスワードを設定する
パソコン起動時のパスワードを設定する

もくじ

バッテリー

ホイールパッド

キーボード

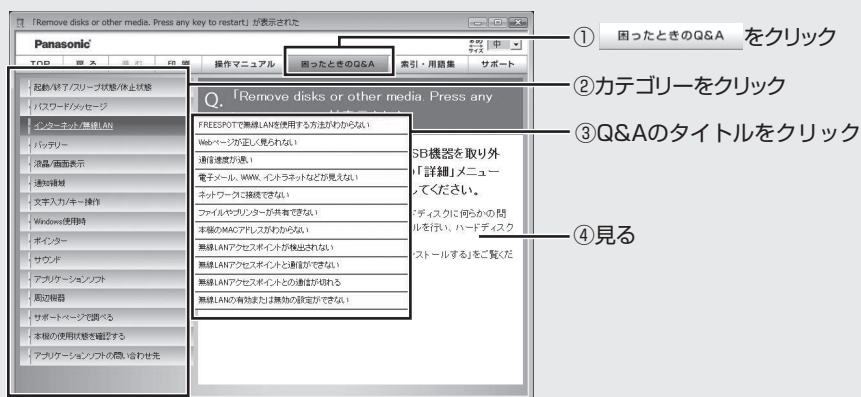
レッツノート活用

アプリケーションソフト

周辺機器

画面で見る『困ったときのQ&A』

本機が正常に動作しないなどのトラブルが発生したときにご覧ください。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

起動 / 終了 / スリープ状態 / 休止状態

「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された
Windows の起動が遅い
Windows を起動すると、チェックディスク（CHKDSK）が始まる
スリープ状態 / 休止状態からリジューム（復帰）しない
スリープ状態 / 休止状態にならない
スリープ状態 / 休止状態を無効にしたい
電源が切れない(Windows が終了しない)
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示された
フロッピーディスクから起動できない

パスワード / メッセージ

「NumLock がオンになっています」が表示された
Windows が起動せず、数字またはメッセージが表示された
管理者のユーザーアカウントの Windows パスワードを忘れた
パスワードの入力画面が表示されない
パスワードを入力しても再度入力を求められる

インターネット / 無線 LAN

FREESPOT で無線 LAN を使用する方法がわからない
Web ページが正しく見られない
通信速度が遅い
電子メール、WWW、イントラネットなどが見えない
ネットワークに接続できない
ファイルやプリンターが共有できない
本機の MAC アドレスがわからない
無線 LAN アクセスポイントが検出されない
無線 LAN アクセスポイントと通信ができない
無線 LAN アクセスポイントとの通信が切れる
無線 LAN の有効または無効の設定ができない

画面で見る『困ったときのQ&A』

アプリケーションソフト

Windows メールで HTML 形式のメールが正常に表示されない
Windows メールで添付ファイルの表示 / 保存ができない
アプリケーションソフトなどが正しく動作しない
動画ファイルが正しく再生されない
ネットワークを利用するプログラムが動作しない

周辺機器

PC カードが使えない
SD/SDHC メモリーカードを挿し込んでも、動作を選ぶ画面が表示されない
USB 機器を接続しているときに、パソコンからノイズが聞こえる
周辺機器が動作しない
大容量のハードディスクに交換したい
ドライバーのインストール中にエラーが起きる
フロッピーディスクの読み出しや書き込みができない
フロッピーディスクを初期化したい
他のマウスドライバーをインストールすると正常に動作しない
割り込み要求（IRQ)、I/O ポートアドレスなど、アドレスマップがわからない

サポートページで調べる

ドライバーのアップデートや新着のサポート情報を知りたい
無線 LAN のサポート情報を知りたい

本機の使用状態を確認する

本機の使用状態を確認したい

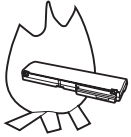
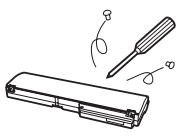
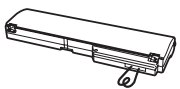
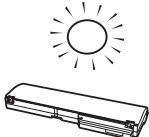
アプリケーションソフトの問い合わせ先

アプリケーションソフトの操作方法、トラブルについて質問したい

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

● 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物質的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

● お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

バッテリーパックに関する注意

危険

火中に投入したり加熱したりしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギを刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしない

禁止

液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

プラス（+）とマイナス（−）を金属などで接触させない

禁止

● 発熱・発火・破裂の原因になります。
● ネックレス、ヘアピンなどといっしょに持ち運んだり保管したりしないでください。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

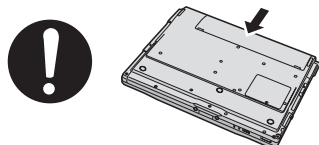
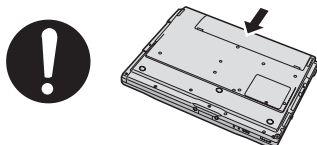
液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

指定の方法で充電する

指定の方法で充電しないと、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。

バッテリーパックに関する注意

危険

付属のバッテリーパックは、必ず本機で使用する	必ず、指定のバッテリーパックを使用する
CF-T5シリーズ専用のバッテリーパックです。CF-T5シリーズ以外に使用すると、液漏れ・発熱・発火・破裂の原因になります。	指定（付属および指定の別売り商品）以外のバッテリーパックを使用すると、発熱・発火・破裂の原因になります。

警告

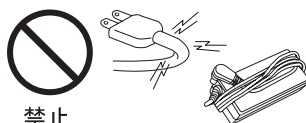
異常が起きたらすぐに電源プラグとバッテリーパックを抜く

電源プラグを抜く

・破損した
・内部に異物が入った
・煙が出ている
・異臭がする
・異常に熱い
などの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

● 異常が起きたら、すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

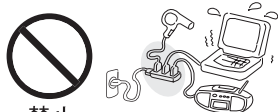
● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

警告

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で電源プラグの抜き挿しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に挿し込む

挿し込みが不完全ですと、感電や、発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

改造しない また、分解しない

分解禁止

⚠ 警 告
高電圧に注意
本機を分解･改造しない

［本体に表示した事項］

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。内部の端子や基板に触れたり、異物を入れたりしないでください。
また、改造や分解は火災の原因になります。

本機の上に水などの液体が入った容器や金属物を置かない

禁止

水などの液体がこぼれたり、クリップ、コインなどの異物が中に入ったりすると、火災・感電の原因になります。

● 内部に異物が入った場合は、すぐに電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを抜いて、販売店にご相談ください。

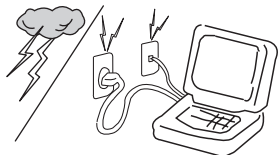
SDメモリーカードなど（別売り）は、乳幼児の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

雷が鳴り始めたら、本機やケーブルに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機やACアダプターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど*1の原因になります。

*1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

警告

植込み型心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る*2

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。航空機内での使用については、航空会社の指示に従ってください。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医用電気機器のある場所では電源を切る*2（手術室、集中治療室、CCU*3などには持ち込まない）

本機からの電波が医用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る*2

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

*2 やむをえずこのような環境でパソコン本体を使用するときは、無線LAN切り替えスイッチを左（OFF側）にスライドさせ、無線LANの電源を切ってください。ただし、航空機の離着陸時など、無線LANの電源を切ってもパソコンの使用が禁止されている場合もありますので、注意してください。

*3 CCUとは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

注意

不安定な場所に置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に置かない

禁止

火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重いものを置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

電源プラグを接続したまま移動しない

禁止

電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

- 電源コードが傷ついた場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。

炎天下の車中などに長時間放置しない

禁止

炎天下の車中や直射日光の当たる場所など極端に高温になる場所に放置すると、キャビネットが変形したり、内部の部品が故障または劣化したりすることがあります。このような状態のまま使用すると、ショートや絶縁不良などにより火災・感電につながることがあります。

注意

電源コードは、プラグ部分を持って抜く

電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

1時間ごとに10～15分間の休憩をとる

長時間続けて使用すると、目や手などの健康に影響を及ぼすことがあります。

LANコネクターに電話回線や指定以外のネットワークを接続しない

LANコネクターに以下のようなネットワークや回線を接続すると、火災・感電の原因になることがあります。

- 100 BASE-TX、10 BASE-T以外のネットワーク
- 電話回線（IP電話、一般電話回線、内線電話回線（構内交換機）、デジタル公衆電話 など）

モデムは、一般電話回線で使用する

会社、事務所などの内線電話回線（構内交換機）やデジタル公衆電話に接続したり、本機で対応していない国や地域*4で使用したりすると、火災・感電の原因になることがあります。

*4 本機のモデムが対応している国や地域については、85ページをご覧ください。

ACアダプターに強い衝撃を加えない

落とすなどして強い衝撃が加わったACアダプターをそのまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になることがあります。

● ACアダプターの修理は、販売店にご相談ください。

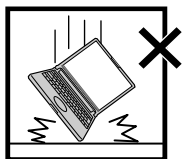
必ず指定のACアダプターを使用する

指定（本体に付属および指定の別売り商品）以外のACアダプターを使用すると、火災の原因になることがあります。

使用上のお願い

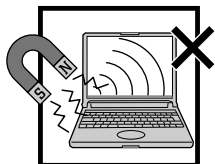
内蔵ハードディスクのデータ保護

データ保護のために次のことをお守りください。

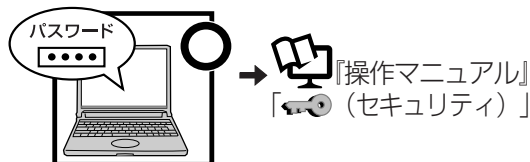
●パソコン本体の取り扱いには十分注意し、衝撃を与えない。

ハードディスクは衝撃に弱く、破損するとデータやWindowsおよびアプリケーションソフトが使えなくなることがあります。

●Windowsやアプリケーションソフトの動作中およびハードディスク状態表示ランプ の点灯中は、電源を切らない。

ハードディスクのトラブルを避けるため、（スタート）メニューから電源を切ってください。

●磁気を発生するもの（磁石、磁気ブレスレットなど）を近づけない。

ハードディスクに保存されていたデータが消失するおそれがあります。

●データの機密保護としてセキュリティ機能を活用する。

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」

使用中に本機が熱いと感じたら

CPUの動作などにより本機が熱くなることがありますが、故障ではありません。

次の設定を行うと、パソコン内部の発熱を下げることができます。

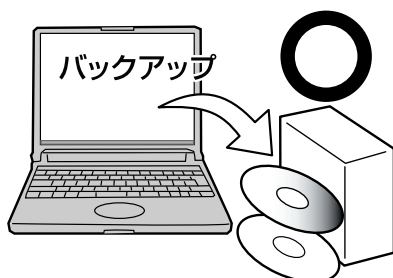
● （スタート）-[コントロールパネル]-[バッテリ設定の変更] をクリックし、[電源プランの選択] を [省電力] に設定する。

●3Dグラフィックスを利用したスクリーンセーバーを使っている場合は、他のスクリーンセーバー（例:[Windows ロゴ]、[ブランク]）に変更する。
スクリーンセーバーを変更するには、デスクトップを右クリックし、[個人設定]-[スクリーンセーバー]をクリックし、スクリーンセーバー名をクリックしてください。

バッテリー状態表示ランプが点灯しないとき

ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。
ACコードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。
それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。

電子メールなどのバックアップと復元

ハードディスクに保存している電子メールやアドレス帳、お気に入りなどの必要なデータは、定期的にバックアップを取ることをお勧めします。
詳しくは 『操作マニュアル』「（インターネット）」または「（電子メール）」をご覧ください。

故障や不本意なデータ更新/消失などのトラブル発生時の被害を最小限に抑えるためには、定期的なデータのバックアップが有効です。（「ハードディスクを復元する」➜81ページ）

周辺機器の使用について

パソコン本体、周辺機器、ケーブルなどの故障を防ぐため、次の点に注意してください。

- ●仕様に適合した周辺機器を使用する。
- ●コネクターの形状、向きに注意して、正しく接続する。
- ●接続しにくい場合は無理に挿し込まず、もう一度コネクターの形状、向きなどを確認する。
- ●固定用のネジがある場合は、ネジを締める。
- ●ケーブルを取り付けたまま持ち運んだり、ケーブルを強く引っ張ったりしない。

また、本書および 『操作マニュアル』と合わせて、使用する周辺機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

気温が高い場所でお使いになる場合

- ●気温が高い場所で連続してお使いの場合、パソコン内部の発熱を下げるモードに入るため、一時的に動作が遅くなることがあります。

プロダクトリカバリー DVD-ROM は大切に保管してください

再インストールをハードディスクから実行できない場合などに必要です。

無線LANご使用時のセキュリティについて

工場出荷時、無線LANのセキュリティに関する設定は行われていません。

無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

➜『操作マニュアル』「(無線LAN)」

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコンと無線LANアクセスポイント（別売り）との間で情報のやり取りを行います。このため、電波の届く範囲であればネットワーク接続が可能であるという利点があります。
その反面、ある範囲であれば障害物（壁など）を越えて電波が届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、次のような通信内容を盗み見る可能性があります。
- IDやパスワード
- クレジットカード番号などの個人情報
- メール内容

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のパソコンやネットワークへアクセスし、次のようなことを行う可能性があります。
- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏えい）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

本機の無線LAN機能や無線LANアクセスポイントには、これらの問題に対応するためのセキュリティに関する設定が用意されています。本機では、使用する無線LANアクセスポイントにあわせて設定をする必要があるため、お買い上げ時にはセキュリティに関する設定は行われていません。無線LANをご使用になる前に、必ず無線LANのセキュリティに関する設定を行ってください。

無線LANのセキュリティに関する設定を行って使用することで、問題が発生する可能性は少なくなりますが、無線LANの仕様上、特殊な方法で通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする場合があります。ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティに関する設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解したうえで、お客さま自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行うことをお勧めします。お客さまご自身で対処できない場合は、お客様ご相談センターにご相談ください。

使用・保管・お手入れについて

使用/保管に適した環境

●平らで落下のおそれがない場所

パソコンが落下すると、本体に衝撃が加わり誤動作や故障の原因になります。

●使用時の温度：5℃～35℃
　　　　湿度：30 %RH～80 %RH
　　　　　　（結露なきこと）
保管時の温度：－20℃～60℃
　　　　湿度：30 %RH～90 %RH
　　　　　　（結露なきこと）

上記の範囲内であっても、低温、高温、高湿度など極端に偏った環境で長期間使い続けると、製品の劣化により製品寿命が短くなるおそれがあります。

●熱のこもらない場所

ビニールシートなどを敷いた上でパソコンを使用すると、本体に熱がこもり故障の原因になります。

●磁気を発生するものおよび磁気カードなどから離れた場所

- 磁石、磁気ブレスレットを近づけないでください。
- 本機は下図の丸印の位置に磁石および磁気製品を使用しています。磁気カードや磁石、磁気ブレスレットなどが触れた状態にしないでください。

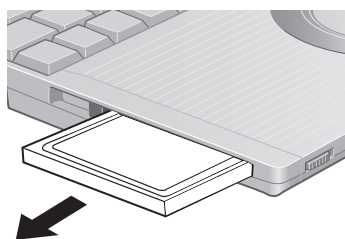
昼夜連続して使用するなど、使用状態によっては保証期間内でも部品の寿命による交換が必要になる場合があります（有償になる場合があります）。

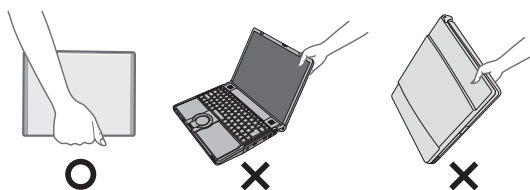
持ち運ぶとき

お守りください

●本機は、ハードディスクドライブなどへの衝撃が小さくなるように設計されていますが、衝撃による故障は保証しかねます。本機は精密機器ですので、取り扱いには十分注意してください。

●電源を切る。

●外部装置やケーブル、本体から突き出たPCカード、SDメモリーカードなどをすべて取り外す。

●ディスプレイを閉じ、ディスプレイラッチ部分（➜ 26ページ）がきちんとかみ合っていることを確認する。

●ディスプレイやディスプレイの周りのキャビネット部を持って運ばない。

●落としたり机の角など硬いものにぶつけたりしない。

●航空機利用時は次のことを守る。

- パソコンやディスクなどは、手荷物として持つ。
- 航空機内の使用は、航空会社の指示に従う。

はじめに

●液晶部分が破損するおそれがあるため、バッテリーパックを取り外しているとき、ディスプレイを閉じた上から必要以上の力を加えない。また、この状態でかばんなどに入れて持ち運ぶときも、満員電車などで力がかからないように気を付ける。

お勧めします

●ACアダプターと、予備のバッテリーパック（別売り）を用意する。

●予備のバッテリーパック（別売り）は、コネクター保護のためビニール袋などに入れる。

●SDメモリーカードなどにデータのバックアップを取る。

お手入れ

●ディスプレイやホイールパッドのお手入れは、ガーゼなどの乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

●ディスプレイ以外の部分やホイールパッドに汚れが付着した場合は、水または水で薄めた台所用洗剤（中性）に浸した柔らかい布をかたく絞ってやさしく汚れをふき取ってください。
中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど、塗装面に影響を与えることがあります。

重 要

●ベンジンやシンナー、消毒用アルコールなどは使わないでください。塗装がはげるなど、塗装面に影響を与える場合があります。また、市販のクリーナーや化粧品の中にも、塗装面に影響を与える成分が含まれている場合があります。

●水や洗剤を直接かけたり、スプレーで噴きかけたりしないでください。液が内部に入ると、誤動作や故障の原因になります。

表記について

[Enter]	キーボードのEnterキーを押すこと。
[Fn] + [F5]	キーボードの[Fn]を押しながら、[F5]を押すこと。 [Fn]と[Ctrl]（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➜52ページ）は、[Fn]と[Ctrl]を置き換えてご覧ください。
(スタート)-[検索]	画面上の(スタート)をクリックした後、[検索]をクリックすること。
➜	参照先
	画面で見るマニュアルのこと。

●本書では、コンピューターの管理者の権限でログオンした場合の手順や画面表示で説明しています。

標準ユーザーのアカウントで実行できない機能があったり、説明と異なる画面が表示されたりした場合は、コンピューターの管理者の権限でログオンして操作してください。

●本書では、Windows Aeroを設定していない場合の画面表示で説明しています。

●本書では、「Windows Vista™ Business」を「Windows」または「Windows Vista」と表記します。

●別売りの商品について

本書で使用している商品品番は変更になることがあります。最新のカタログまたはご相談窓口で確認してください。

●再インストールについて

再インストールとは、ハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

再インストールを実行するとハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。

お客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。（「ハードディスクを復元する」➜81ページ）

再インストールの方法や確認事項については「再インストールする」（➜60ページ）をご覧ください。

はじめに

画面で見るマニュアルの見方

次のマニュアルは本機に保存されています。Windowsのセットアップ（➜『取扱説明書 準備と設定ガイド』）が終わった後に見ることができます。

『操作マニュアル』『困ったときのQ&A』を見る

1 デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリックする。

●デスクトップの（バッテリー等の上手な使い方）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（バッテリー）」が表示されます。

●デスクトップの（セキュリティについて）をダブルクリックすると、『操作マニュアル』の「（セキュリティ）」が表示されます。
機種によってはデスクトップに（セキュリティについて）がない場合があります。

『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』を見る(PDF形式)

内蔵セキュリティチップ（TPM）のインストール方法などを説明しています。

1 デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリックする。

2 [操作マニュアル]-[（セキュリティ）]をクリックし、[データを暗号化する]をクリックする。

3 説明をよく読み、[内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き] をクリックする。

『ネットセレクター 2の使い方』を見る（PDF形式）

ネットセレクター 2の使い方を説明しています。

1 (スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[ネットセレクター 2]-[ネットセレクター 2について]をクリックする。

『内蔵モデムコマンド一覧』を見る（PDF形式）

モデムの設定で使用するコマンドの一覧です。

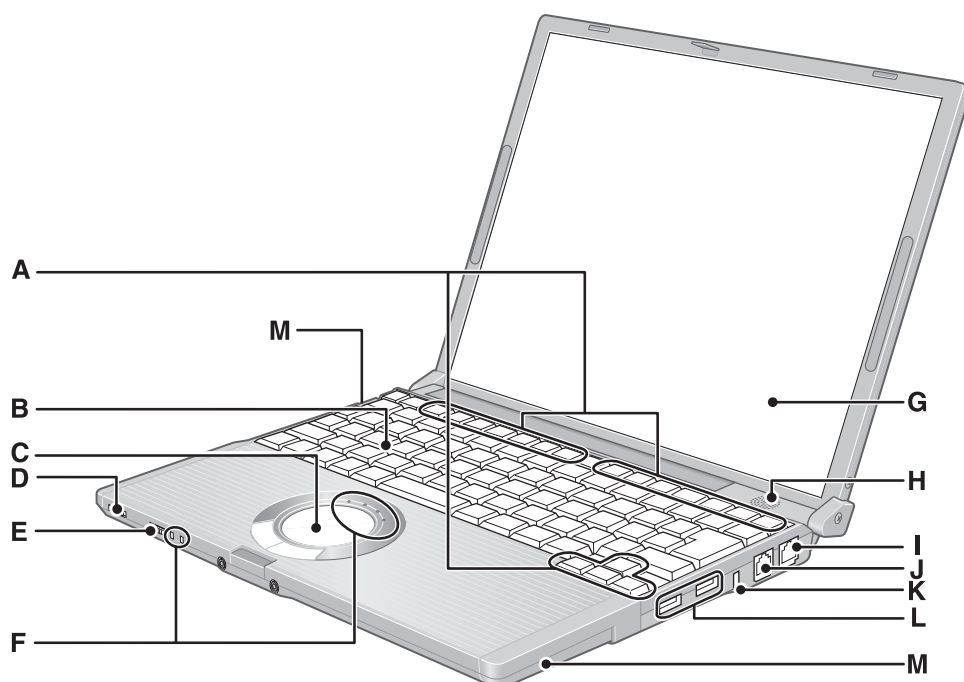
1 (スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[オンラインマニュアル]-[内蔵モデムコマンド一覧]をクリックする。

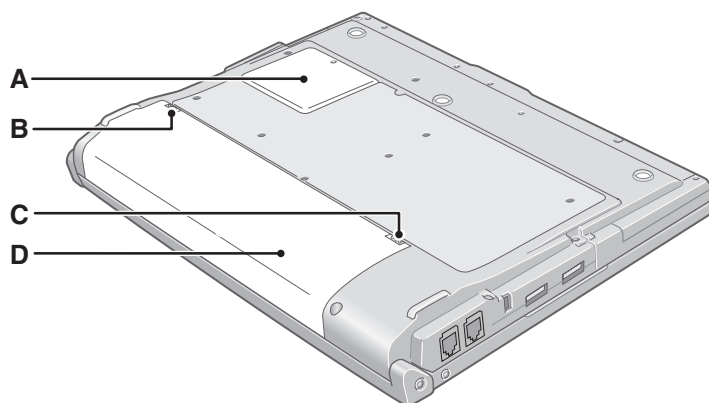
Windowsのヘルプを見る

1 (スタート)-[ヘルプとサポート]をクリックする。

メモ

Adobe Readerのアップデートを促すメッセージが表示された場合は、画面に従ってアップデートしてください。
Adobe Readerの最新版については次のWebページをご覧ください。
http://www.adobe.co.jp/

各部の名称と働き

名　称		働き／参照先
A	ファンクションキー	Fnと組み合わせて押すと、各キーに割り当てられている機能が働きます。 ➡ 34 ページ
B	キーボード	—
C	ホイールパッド	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」 ➡ 32 ページ
D	電源スイッチ／電源状態表示ランプ ⏻	約 1 秒間スライドさせせると電源が入り、電源状態表示ランプが点灯します。 （電源状態表示ランプ ➡ 27 ページ／電源スイッチ ➡ 30 ページ）
E	無線 LAN 切り替えスイッチ WIRELESS LAN	無線 LAN の電源を入れる（右側）／切る（左側）を切り替えます。 ➡ 『操作マニュアル』「（無線 LAN）」
F	状態表示ランプ ECO	➡ 27 ページ
G	ディスプレイ（内部 LCD）	明るさ調整：Fn＋F1（下げる）／Fn＋F2（上げる） ➡ 29 ページ
H	スピーカー	● 音量調整　：Fn＋F5（下げる）／Fn＋F6（上げる） ● スピーカーのオン／オフ：Fn＋F4
I	LAN コネクター	LAN ケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「ADSLで接続する」

名　称		働き／参照先
J	モデムコネクター	モジュラーケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「 （インターネット）」の「電話回線で接続する」
K	セキュリティロック	ケンジントン社製のセキュリティ用ケーブルを接続することができます。 接続のしかたはケーブルに付属の説明書をご覧ください。 セキュリティロックおよびセキュリティケーブルは盗難を予防するもので、万一発生した盗難事故による被害については責任を負いかねます。
L	USBポート	USBケーブルを接続します。 ➡ 『操作マニュアル』「 （周辺機器）」の「USB機器を接続する」
M	無線LAN 用アンテナ（内蔵）	無線LAN 通信用のアンテナが内蔵されています。 ➡ 『操作マニュアル』「 （無線LAN）」

A	拡張メモリースロット	RAMモジュールを取り付けます。（機種によっては、RAMモジュールが増設済みの場合があります。お使いの機種の「仕様」をご確認ください。） ➡ 46 ページ
B	ラッチ	バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。
C	ラッチ	バッテリーパックの取り付け／取り外し時に、手動でロックを解除します。 ➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』
D	バッテリーパック	➡『取扱説明書 準備と設定ガイド』、 『操作マニュアル』「 （バッテリー）」

はじめに

各部の名称と働き

	名　称	働き／参照先
A	電源端子 DC IN 16V	ACアダプターを接続します。
B	外部ディスプレイコネクター	外部ディスプレイのケーブルを接続します。 ➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部ディスプレイを使う」
C	PCカードスロット	➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「PCカードを使う」
D	SDメモリーカードスロット	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカード専用です。 ➜ 『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」
E	SDメモリーカード状態表示ランプ SD	SD メモリーカードまたは SDHC メモリーカードへのアクセス時に点灯します。
F	ディスプレイラッチ	ディスプレイを閉じてラッチがロック状態になると、スリープ状態や休止状態に入ります。操作を再開するときはディスプレイを開けてください。 ➜ 44 ページ
G	マイク入力端子	コンデンサー型ステレオマイクロホンを使用できます。 モノラルマイクロホンや、コンデンサー型以外のマイクロホンを使用すると、音の入力ができなかったり、故障の原因になったりする場合があります。 **マイクの音声を内蔵スピーカーから出力する方法：** ① 通知領域の を右クリックして[再生デバイス]をクリックする。 ② [スピーカー]をクリックして[プロパティ]をクリックする。 ③ [レベル]をクリックし、[入力モニタ]の をクリックして に変更する。 ④ (スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[省電力ユーティリティ]をクリックする。 ⑤「SigmaTelサウンドドライバ省電力機能」の[無効]をクリックする。 ⑥ 確認画面が表示されたら[OK]をクリックする。 ⑦ [OK]をクリックする。
H	オーディオ出力端子	市販のオーディオ用ヘッドホン、アンプ付きスピーカーなどを接続します。接続すると、内蔵スピーカーからの音は出なくなります。

状態表示ランプ

名　称	状態／参照先
電源状態表示ランプ	● 消灯：電源オフまたは休止状態 ● 点灯：電源オン ● 点滅：スリープ状態 工場出荷時の状態では、内部LCDの明るさに合わせてランプの明るさが変わります。 スリープ状態または休止状態から復帰するには、電源スイッチをスライドしてください。
エコノミーモード（ECO）ランプ　ECO	バッテリーのエコノミーモード（ECO）の有効／無効を表します。 ● 消灯：無効 ● 点灯：有効 ● 点滅：有効（残量80%まで放電中）
バッテリー状態表示ランプ	● 消灯：バッテリーパック未装着または充電していない状態 ● オレンジ色点灯/明滅：充電中 ● 緑色点灯：充電完了 ● 赤色点灯：残量約9%以下 ● 赤色点滅、オレンジ色点滅：「バッテリーのQ&A」の「バッテリー状態表示ランプが点滅しているときは？」（→73ページ）をご覧ください。
Caps Lockランプ（キャップスロック）　A	Shiftを押しながらCaps Lockを押すと点灯または消灯し、入力できるアルファベットの種類を表します。 ● 点灯：大文字 ● 消灯：小文字
NumLockランプ（ナムロック／テンキーモード）　1	NumLkを押すと点灯し、下図のようにキーボードの一部がテンキーとして機能します。ランプ点灯時にキーを押すと、キーボード上の数字または演算記号が入力できます。 解除するには、もう一度NumLkを押します（ランプ消灯）。 テンキーモード 7 8 9 − 4 5 6 ↵ 1 2 3 + * 0 . / ↵の機能は、アプリケーションソフトにより異なります。
ScrLkランプ（スクロールロック）	Fnを押しながらNumLk（ScrLk）を押すと点灯または消灯します。使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。
ハードディスク状態表示ランプ	ハードディスクへのアクセス時に点灯します。

はじめに

画面の表示について

電源を入れ、Windowsにログオンしたとき、最初に表示される画面を「デスクトップ」と呼びます。

表示例	名　称	働き
など	デスクトップのアイコン	ダブルクリックすると、アプリケーションソフトが起動したり、ウィンドウが開いたりします。
	スタートボタン(画面左下)	クリックすると、メニューが表示されます。使いたいアプリケーションソフトなどをメニューから選択し、クリックします。
クリック	通知領域（画面右下）	並んでいるアイコンにはそれぞれ役割があり、機能設定や状態確認などを行います。本書で説明しているアイコンが表示されていない場合は、をクリックして表示させてください。（本書で説明しているアイコンは、各種機能の設定や接続している機器など、環境によって、種類や順序が実際の表示と異なる場合があります。）

サイドバーを開始するには

Windows サイドバーは、工場出荷時には表示されません。開始するには以下の操作を行ってください。

（スタート）-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[Windows サイドバー] をクリックする。

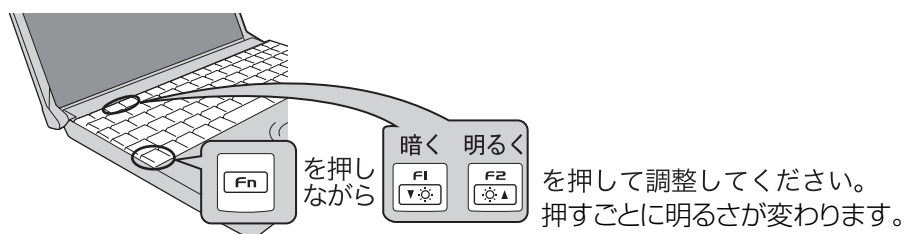
パソコン起動時、常にサイドバーを開始するには

通知領域内のサイドバーアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。「Windows起動時にサイドバーを開始します」をクリックし、チェックマークを付けてください。

通知領域のアイコン

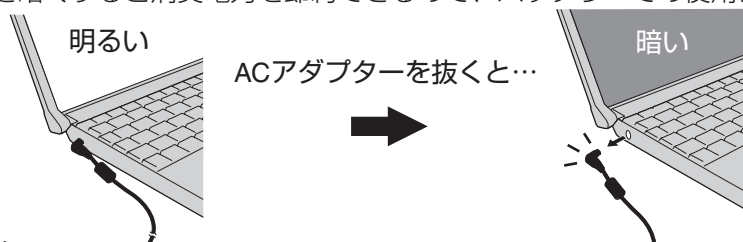
アイコン	名称と役割
	Intel(R) Graphics Media Accelerator Driver for Mobile（画面設定に使用）
または	無線 LAN（無線 LAN の確認や IEEE802.11a の有効 / 無効の切り替えに使用） ➜ 『操作マニュアル』「（無線 LAN)」
	ポインティングデバイス（ホイールパッドの各種設定に使用）
または	ホイールパッドユーティリティ(ホイールパッドユーティリティの状態確認や設定に使用) ➜ 『操作マニュアル』「（ホイールパッド)」
または	音量（音量の設定） ➜ Windowsの「ヘルプとサポート」
または	ネットワーク接続（有線 LAN や無線 LAN の接続設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット)」または「（無線 LAN)」
または	エコノミーモード（ECO）（現在のエコノミーモード（ECO）の確認やモードの切り替えに使用）➜ 41 ページ
または	「バッテリメーター」（AC アダプターを接続すると右側の表示。「バッテリメーター」の表示や電源オプションの調整に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（バッテリー)」の「駆動時間について」

アイコン	名称と役割
	ネットセレクター 2（接続したネットワークに合わせて設定を切り替えるために使用。Windowsのセットアップ後、再起動すると表示されます。） ➜ 『操作マニュアル』「（インターネット）」の「ネットセレクター 2を使う」
または	Windowsセキュリティセンター（セキュリティに関する設定状態の確認や設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「セキュリティセンター」
または	Hotkey設定（Hotkey設定画面で[Fnキーの状態を画面に表示する]にチェックマークを付けている場合のみ表示。Fnキーのロック状態の確認に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Hotkey設定」
	ズームビューアー（ズームビューアーを起動している場合のみ表示。拡大表示ウィンドウの表示やズームビューアーの各種設定に使用） ➜ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「画面の一部を拡大表示する」
	Windows Defender ➜ Windowsの「ヘルプとサポート」

画面の明るさを調整する

明るくすると、バッテリーの駆動時間は短くなります。

ACアダプターを抜くと暗くなる

工場出荷時、ACアダプターを接続していない状態では画面を暗くするように設定されています。
画面を暗くすると消費電力を節約できるので、バッテリーでの使用に適しています。

メモ

ACアダプターを接続しているときと接続していないときの明るさを、別々に設定することもできます。また、明るさの調整は電源プランでも設定できます。（電源プランごとに設定可能）
Fnキーで明るさを調整すると、電源プランで設定した明るさも連動して変更されます。

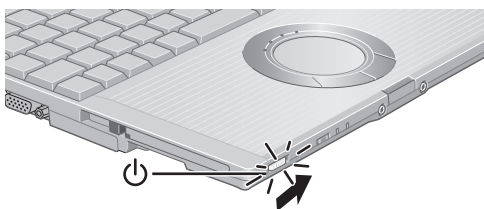
詳しくは『困ったときのQ&A』「液晶/画面表示」「明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）」の「電源プランで設定する」をご覧ください。

電源を入れる/切る

電源を入れる

初めて電源を入れるときの操作は『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

1 電源スイッチ⏻を約1秒間スライドする。

●電源状態表示ランプ⏻が点灯したら手を離します。
●電源スイッチを4秒以上スライドさせたり、連続してスライドさせたりしないでください。

●起動中（ポインターが◯から通常のものに戻り、ハードディスク状態表示ランプが消えるまで）は、次のことをしないでください。

- ACアダプターを抜き挿しする。
- 電源スイッチを操作する。
- キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
- ディスプレイを閉じる。

2 Windowsにログオンする。

複数のユーザーアカウントを作成している場合は、ハードディスク状態表示ランプが消灯してから、ユーザーアカウントのアイコンをクリックします。

ユーザーアカウントのアイコン

●パスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面になります。

パスワードを入力して➔をクリックしてください。正しいパスワードを入力するまで操作できません。

●文字入力の設定がキャップスロックやナムロック（➜ 27ページ）になっていないことを確認してください。

メモ

●お買い上げ時は省電力設定がされているため、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、省電力機能が働き画面の表示が消えます。
- ホイールパッド、キーボードを操作すると元の状態に戻ります。
動作に影響のないキー（Ctrl や Shift など）を押してください。
また、本機を操作しないと、スリープ状態に入ります。電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。
➜43ページ

電源を入れた後、すぐに下の画面が表示されたら…

本機のセキュリティのため、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードが設定されています。パスワードを入力しEnterを押してください。正しく入力すると起動します。

3回間違えるかパスワードを入力せずに約1分経過すると、電源が切れます。

使ってみる

電源を切る

ホイールパッドを使って電源を切る

1 **必要なデータを保存して、各種アプリケーションソフトを終了する。**

2 **(スタート)をクリックする。**

3 **-[シャットダウン]をクリックする。**

電源が切れます。

起動し直したい場合（再起動）は [再起動] をクリックします。

4 電源状態表示ランプが完全に消灯してから

ディスプレイを閉じる。

ディスプレイラッチがきちんとかみ合う（ロックされる）まで上からしっかりと押してください。

キーボードを使って電源を切る

1 **を押し、を 3 回押して [シャットダウン] を選ぶ。**

2 **Enterを押す。**

3 電源状態表示ランプが完全に消灯してから

ディスプレイを閉じる。

ディスプレイラッチがきちんとかみ合う（ロックされる）まで上からしっかりと押してください。

Alt+F4 を押して、終了画面を表示させることもできます。

重 要

- **電源が切れるまでは、次のことをしないでください。**
  - ACアダプターを抜き挿しする。
  - 電源スイッチを操作する。
  - キーボード、ホイールパッド（外部マウス）に触れる。
  - ディスプレイを閉じる。
- **電源を切った後、再び電源を入れるまで10秒以上あけてください。**

メ モ

- パソコン本体にACアダプターを接続していないときはコンセント側を抜いておいてください。ACアダプターをコンセントに接続しているだけで約1.5Wの電力が消費されます。
- 電源が切れている状態でも電力を消費します。満充電にしていても約3か月でバッテリー残量がなくなります。（軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合は約2か月）
  また、LAN Wake Up機能を有効に設定している場合は、スリープ状態/休止状態でもバッテリー残量保持期間が次のようになります。
  - バッテリーパック（品番：CF-VZSU37U）使用時
    - スリープ状態でのバッテリー残量保持期間：約6日
    - 休止状態でのバッテリー残量保持期間：約8日
  - 軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）使用時
    - スリープ状態でのバッテリー残量保持期間：約3日
    - 休止状態でのバッテリー残量保持期間：約4日

  保持期間を延ばすには、LAN Wake Up機能を無効に設定してください。スリープ状態では少し長く、休止状態では電源オフ時とほぼ同じになります。また、LANケーブルを接続していない場合は、少し長くなります。
  LAN Wake Up機能については、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「LAN Wake Up機能を有効/無効にする」をご覧ください。

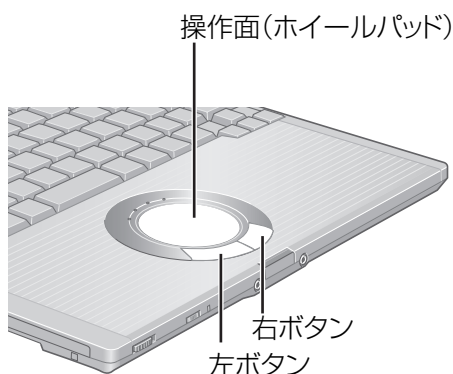
席を外すなど、操作を中断する

「スリープ状態」または「休止状態」と呼ばれる機能を使うと、次回電源を入れたとき、操作していたアプリケーションソフトやファイルが表示され、すぐに操作を再開することができます。

- Fn+F7 を押すと、スリープ状態になります。
- Fn+F10 を押すと、休止状態になります。
- 電源スイッチをスライドすると元の状態に戻ります。

→ 43ページ

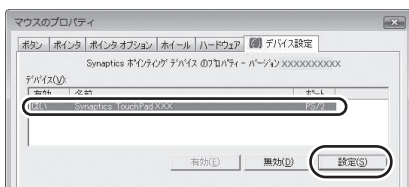
ホイールパッドを使う

マウスと同じようにポインターを動かしたり、機能を選択したりするときに使います。
使い方については、『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「ホイールパッドの基本操作」をご覧ください。
お使いのネットワーク環境によっては、ホイールパッドユーティリティの起動に 1 分以上かかる場合があります。

ホイールパッドの感度を調節する

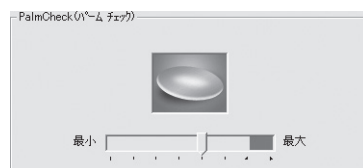
「PalmCheck™ (パームチェック)」と「タッチ感度」の2つの感度を調節することで、ホイールパッドを使いやすく設定することができます。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[マウス]をクリックする。

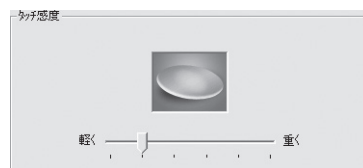
2 [デバイス設定]をクリックする。

3 [デバイス]内のデバイス名（例：Synaptics TouchPad)をクリックして、[設定]をクリックする。

4 [感度]をダブルクリックして、[PalmCheck(パームチェック)]または[タッチ感度]をクリックする。

●PalmCheck（パームチェック）

キーボード操作時、ホイールパッドを操作するつもりがないのに手のひらがホイールパッドに触れてポインターが動いてしまう場合に調節します。

- スライドバーを[最大]側へドラッグすると、意図していないときにポインターが動いてしまうことを防ぐことができます。
- スライドバーを[最小]側へドラッグすると、手のひらがホイールパッドに軽く触れても、ポインターが動くようになります。

●タッチ感度

指がホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動いてしまう場合、またはホイールパッド上で指を動かしてもポインターがなかなか動かない場合に調節します。

- スライドバーを[重く]側へドラッグすると、ホイールパッドに強く触れないとポインターが動かなくなります。
- スライドバーを[軽く]側へドラッグすると、ホイールパッドに軽く触れただけでポインターが動くようになります。

5 調節した後、[OK] をクリックする。

6 「マウスのプロパティ」画面で、[OK]をクリックする。

ホイールパッドの有効/無効を切り替える

USBマウスの抜き挿しに連動してホイールパッドの有効/無効を切り替えることができます。この機能を使うには、「USBマウスヘルパー」のセットアップが必要です。

1 (スタート)-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

または (スタート)をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥umouhelp] と入力してEnterを押し、手順３に進んでください。

2 半角英字で次のように入力し、[OK]をクリックする。

c:¥util¥umouhelp

3 「umouhelp」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。

setupという名前のファイルが2つ以上ある場合は、[種類]に[アプリケーション]と表示されているファイルを右クリックしてください。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[OK]をクリックします。

4 「USBマウスヘルパー」画面で[はい]をクリックする。

「USBマウスヘルパーをご使用になる前に」が表示されますので、内容をよく読んで、 をクリックしてください。

5 [次へ]をクリックする。

6 [インストール]をクリックする。

7 [はい、今すぐコンピュータを再起動します。]をクリックし、[完了]をクリックする。

パソコンが再起動します。

詳しくは、『操作マニュアル』「 (周辺機器)」の「外部マウスを使う」もご覧ください。

ホイールパッドの取り扱い

ホイールパッドは、指で操作するように設計されています。

- 操作面に物を置いたり、つめなど先のとがったもの、硬いもの、鉛筆やボールペンのような跡の残るもので強く押さえたりしないでください。
- 油などでホイールパッドを汚さないでください。ポインターが正常に動かなくなります。
- ホイールパッドに汚れが付着した場合、ガーゼなどの乾いた柔らかい布か、水で薄めた台所用洗剤（中性）を浸してかたく絞った柔らかい布で汚れを取り除いてください。
- ベンジンやシンナー、消毒用アルコール、中性の台所用洗剤以外の洗剤（弱アルカリ性洗剤など）を使用すると、塗装がはげるなど塗装面に影響を与えることがあります。使用しないでください。

メモ

ダブルクリックの速さやボタンを押したときの動作は、 (スタート)-[コントロールパネル]-[マウス] をクリックし、「マウスのプロパティ」画面で変更できます。

使ってみる

Fnキーを使う

Fnを押しながら、文字や記号が枠で囲まれているキーを押すと、次の表のような機能が働きます。

●各機能の詳細：
➜ 『操作マニュアル』「（キーボード）」の「Fn キーを使う」

●Fn と Ctrl（左側）の機能を入れ換えてお使いの場合（➜ 52 ページ）：
Fn の代わりに Ctrl（左側）を押してください。

キー	機能	画面表示
Fn+F1 Fn+F2	内部 LCDの明るさを調整します。 Fn+F1（下げる）/ Fn+F2（上げる）	
Fn+F3	外部ディスプレイ接続時、表示先を内部LCD/同時表示/外部ディスプレイに切り替えます。画面表示が完全に切り替わるまで、他のキーは押さないでください。	–
Fn+F4	スピーカーとオーディオ出力端子からの音声出力のオン/オフを切り替えます。 音声出力をオフにすると、ビープ音も鳴らなくなります。	オン オフ（ミュート）
Fn+F5 Fn+F6	スピーカーとオーディオ出力端子からの音量を調整します。 Fn+F5（下げる）/ Fn+F6（上げる）	
Fn+F7	現在のパソコンの状態がメモリーに保存されてスリープ状態に入ります。	–
Fn+F9	バッテリーの残量を表示します。	100 バッテリーパック装着時（%表示は一例です。） -- バッテリーパック未装着時 ECO エコノミーモード（ECO）が有効の場合は、「ECO」と表示されます。
Fn+F10	現在のパソコンの状態をハードディスクに保存して休止状態に入ります。	–
Fn+F11	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。（SysRq）	–
Fn+F12	画面全体をクリップボードにコピーします。（PrtSc） Fn+Alt+F12を押すと、選択されているウィンドウのみコピーできます。	–
Fn+NumLk Fn+Ins Fn+Del	使用するアプリケーションソフトによって機能が異なります。 Fn+NumLk：ScrLk　Fn+Ins：Pause Fn+Del：Break	–
Fn+←	最初のページに移動またはカーソルを行の先頭に移動（Home）	–
Fn+→	最後のページに移動またはカーソルを行の最後に移動（End）	–
Fn+↑	前のページに移動（PgUp）	–
Fn+↓	次のページに移動（PgDn）	–

セキュリティについて

ネットワークを介した不正なアクセスやコンピューターウイルスによって大切なデータが破壊されたり、パソコン本体の盗難や無断使用により重要な機密情報が外部に漏えいしたりするケースが増えています。
いつトラブルに見舞われるかは予測がつきません。万一に備え、セキュリティ対策を行ってください。

●マルウェアとは

パソコンに被害を及ぼす可能性のある「悪意のあるソフトウェア」を「マルウェア（malicious softwareの略）」と呼びます。
マルウェアには、コンピューターウイルス（ワームなど）や、パソコンから情報を勝手に盗んでしまうスパイウェア（トロイの木馬やキーロガー、バックドアなど）、強制的に広告などのWebページを表示させるアドウェアなどがあります。

マルウェアについて詳しくは、『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「セキュリティについて」をご覧ください。

●適切なセキュリティ機能を使う

セキュリティ対策を行っていても、情報漏えいやウイルス感染などが完全に防げるわけではありません。また、高度なセキュリティ機能を使うと、何回もパスワードを入力しなくてはならなかったり、1つでもパスワードを忘れるとデータを読み出せなくなったりするなど、使い勝手が悪くなることがあります。お客さまの使い方にあった適切なセキュリティ機能を使ってください。

●セキュリティ機能を使うときのお願い

- お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。
- 「パソコンが起動しない」や「インターネットにアクセスしたら、ウイルスに感染してしまった」など、思わぬトラブルや故障に備えて、大切なデータはバックアップを取り、安全な場所に保管しておくことをお勧めします。
- 情報漏えいやウイルス感染などによる損害について、弊社では一切責任を負いかねます。

ステップ別セキュリティ対策

ここでは、ご利用の環境や用途に合わせて、お客さまに行っていただきたいセキュリティ対策を「基本編」「応用編」「強化編」のステップに分けて紹介します。ステップが進むほど安全性は高くなります。

詳細は『操作マニュアル』「（セキュリティ）」をご覧ください。

メモ

- ●「基本編」「応用編」「強化編」それぞれのセキュリティ対策から、必要なものを組み合わせて設定してください。
「強化編」にあるデータの暗号化だけでは、安全性は高くなりません。必ず「基本編」「応用編」のセキュリティ機能と組み合わせて使ってください。
- ●会社のネットワーク管理者から設定の指示などがある場合は、その指示に従ってください。
本書に記載している内容がすべての環境に適しているわけではありません。

セキュリティ対策（基本編）

パソコンを使う方全員に行っていただきたい対策です。

項目	効果
Windowsファイアウォール	不正アクセスの防止
自動更新（Windowsを最新の状態にする）	ウイルス感染や不正アクセスの防止
ウイルス対策ソフト	ウイルス感染の防止
標準ユーザーの作成	第三者による不正な設定変更の防止
Windowsパスワード	Windowsの無断使用の防止
データ実行防止機能（DEP機能）	コンピューターウイルスの実行防止

セキュリティ対策（応用編）

これらは主に、第三者による不正使用や情報漏えいを防ぐための対策です。1台のパソコンを複数の人でお使いの場合や、本機を仕事でお使いの場合にお勧めです。

項目	効果
ログオン方法の変更	不正使用や情報漏えいの防止
起動時のパスワード（➜ 55ページ）	
ハードディスク保護（➜ 56ページ）	
離席時の動作(Windowsパスワードの活用)	
起動デバイスの制限	

セキュリティ対策（強化編）

「応用編」にあるハードディスク保護機能を使うことで、第三者がハードディスク内の情報を読み出せない状態にすることができます。しかし、ハードディスクを分解し、内部の情報を直接読み出すことは技術的に可能です。

本機には、このような場合に備えて、ハードディスクの情報をファイルまたはフォルダー単位で暗号化する機能が用意されています。また、ファイルやパスワードを暗号化するときに使われる暗号鍵をハードディスクに記録するのではなく、セキュリティチップで管理する機能を備えています。

項目	効果
暗号化ファイルシステム	情報漏えいの防止
内蔵セキュリティチップ（TPM）	

セキュリティ設定ユーティリティ

本機には、各種セキュリティ機能の一元管理や設定が簡単に行えるセキュリティ設定ユーティリティが用意されています。

起動時のパスワードやハードディスク保護など、セキュリティ上重要な項目の解除はセキュリティ設定ユーティリティからは行えません。それらを解除する場合は、セットアップユーティリティで行ってください。（➜ 49ページ）

一部の設定項目については、プロファイルに保存またはプロファイルから読み込むことができます。これにより、パソコンの使用状況に応じてセキュリティの設定を一括して切り替えたり、元の設定に戻すことができます。別のパソコンのセキュリティ設定ユーティリティで保存したプロファイルを本機に読み込み、パソコンのセキュリティ設定の内容を合わせることもできます。

使用方法

1 **(スタート)-[すべてのプログラム] -[Panasonic]-[セキュリティ]-[セキュリティ設定ユーティリティ]をクリックする。**

Windowsの動作上重要な項目を設定/変更する場合は、管理者のユーザーアカウントでログオンして、操作してください。標準ユーザーでログオンしたり、必要な設定がされていなかったりした場合、設定できない項目はグレー表示になります。セキュリティ設定ユーティリティでこれらの項目を設定/変更することはできません。

メ モ

セキュリティ設定ユーティリティが表示されない場合は、次の手順でインストールしてください。

① （スタート）-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]-[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

または (スタート)をクリックし、[検索の開始]に[c:¥util¥secutil]と入力して[Enter]を押し、手順 ③ に進む。

② 半角英数字で次のように入力し、[OK]をクリックする。

c:¥util¥secutil

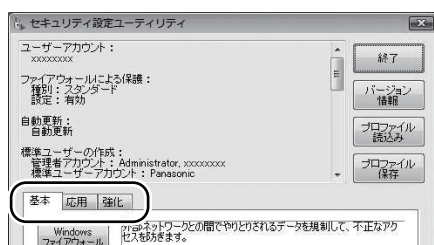
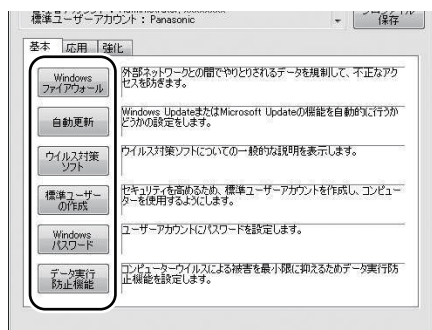
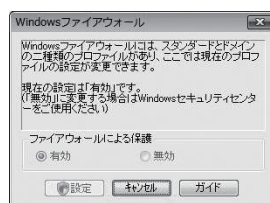
③「secutil」フォルダー内の[setup]を右クリックし、[管理者として実行]をクリックする。
setupという名前のファイルが2つ以上ある場合は、[種類]に[アプリケーション]と表示されているファイルを右クリックしてください。

④「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[OK]をクリックします。

以降は画面の指示に従ってください。

2 **「ご利用確認」画面の内容をよくお読みのうえ、[はい]をクリックする。**

[いいえ]をクリックした場合、セキュリティ設定ユーティリティはお使いいただけません。

3 **設定するセキュリティを[基本]、[応用]、[強化]から選択する。**

4 **設定する項目をクリックする。**

[Windows ファイアウォール]をクリックした場合は、次の画面が表示されます。

以降は、画面の指示に従って操作する。

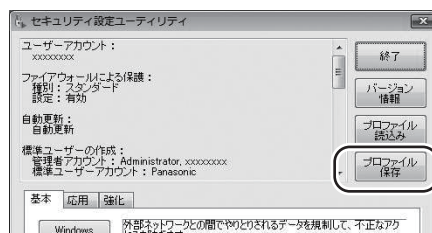
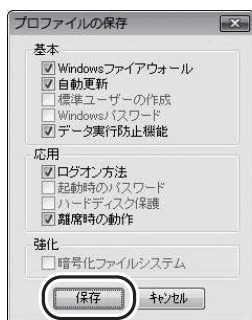
5 **設定が終わったら、[終了]をクリックする。**

設定の保存/読み込み

「セキュリティ設定ユーティリティ」画面で、[プロファイル保存]または[プロファイル読込み]をクリックしてください。

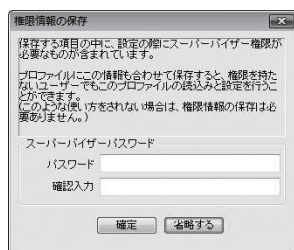
●保存

現在設定されている内容をプロファイルに保存します。

1 **[プロファイル保存]をクリックする。**

2 保存する項目をクリックしてチェックマークを付け、[保存]をクリックする。

- 保存できない項目はグレーで表示されます。
- Windows ファイアウォール、データ実行防止機能およびハードディスク保護は、有効に設定されている場合のみ選択できます。
- 標準ユーザーの作成、Windows パスワード、起動時のパスワードは設定および変更した場合に選択できます。

3 保存するフォルダーを選択し、[保存]をクリックする。

ファイル名は自由に入力することができます（あらかじめSsuSaveと入力されています）。

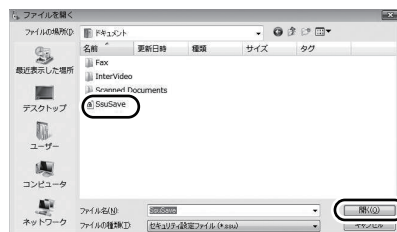
各機能を設定するときにスーパーバイザーパスワードが必要となる項目を保存する場合は、次の画面が表示されます。

- 項目を入力し、[確定]をクリックするとスーパーバイザーパスワードがプロファイルに保存されるため、読み込み時にパスワードの入力が不要になります。
- [省略する]をクリックするとパスワードなどはプロファイルに保存されません。読み込み時にスーパーバイザーパスワードの入力が必要になります。

●**読み込み**

プロファイルの内容を読み込み、セキュリティ機能を設定します。

1 [プロファイル読込み]をクリックする。

2 読み込むファイルを選択して、[開く]をクリックする。

保存時に、権限情報入力画面で[省略する]をクリックしたプロファイルを読み込んだ場合は、スーパーバイザーパスワードの入力画面が表示されます。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。

- 画面に実行結果が表示されます。このテキストデータは、「ドキュメント」フォルダーの中のssulog.txtというファイル名で保存されます。
- 保存されている設定の内容によっては、「ユーザーアカウント制御」画面が数回続けて表示される場合があります。

メ モ

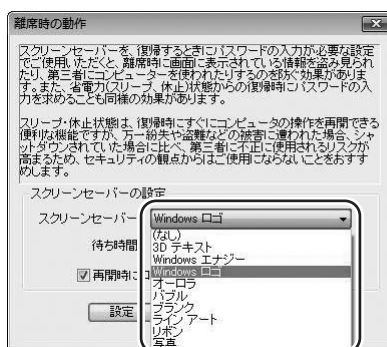
セキュリティ設定ユーティリティを起動せずにプロファイルを読み込むこともできます。正常に読み込めた場合は実行結果が表示されません。

- ●エクスプローラーなどで保存したプロファイルをダブルクリックする。
- ●セキュリティ設定ユーティリティを起動するときに引数で指定する（ネットワーク管理者向け）。
  ワイルドカードは使用できません。

重 要

- ●**以下の機能を解除する設定は、セキュリティの問題上プロファイルに保存できません。**
  - **Windows ファイアウォール**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- ●**設定済みの起動時のパスワード（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード）は、プロファイル読み込み時に変更することはできません。**
- ●**以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときにスーパーバイザーパスワードの入力が必要です。**
  - **データ実行防止機能**
  - **ハードディスク保護**
- ●**以下の機能は、セキュリティ設定ユーティリティで設定するときに管理者のユーザーアカウントが必要です。**
  - **Windowsファイアウォール**
  - **自動更新**
  - **標準ユーザーの作成**
  - **ログオン方法**
- ●**暗号化ファイルシステムで暗号化したフォルダーを複数作成した場合、最後に作成したフォルダーの情報のみプロファイルに保存されます。**
- ●**プロファイル読込みの履歴は、「ドキュメント」フォルダーにssulog.txtというファイル名で保存されます。**

使用上のお願い

- セキュリティ設定ユーティリティ使用中は、Windows上で同様の設定/変更は行わないでください。
- Windowsのパスワード/標準ユーザーの作成について
  Windowsのセキュリティを安全性の高い設定にしていたり、他のセキュリティソフトを使っていたりすると、作成するパスワードやユーザーアカウントに特定の条件（文字数や複雑さなど）が必要になる場合があります。
- パスワードの入力は、大文字/小文字の違いに注意してください。
  Caps Lockがロックされていたり、NumLkを押してテンキーモードが有効になっていたりすると、設定したいパスワードと異なるパスワードが入力/設定されてしまうおそれがあります。
- Windowsのパスワードとして、漢字などの全角文字は入力できません。
- 一部のユーザーアカウントは、Windowsのシステム設定によって、表示されない場合があります。
- [離席時の動作]で設定されるスクリーンセーバーについて
  c:¥windowsおよびc:¥windows¥system32のフォルダーにインストールされているスクリーンセーバーを一覧で表示します。一覧に表示された識別名またはファイル名を選択してください。

- パソコンまたはご使用のアカウントがドメインに参加している場合、セキュリティ設定ユーティリティはご使用いただけません。

使ってみる

バッテリーについて

駆動時間について

バッテリーの駆動時間は、使い方や使用環境によって大きく変わります。

本機では、他のメーカーとの比較のために共通の測定法として社団法人電子情報技術産業協会の「JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)」(以降、JEITA測定法と表記)を採用しています。

重 要

本書やカタログなどに記載のJEITA測定法に基づいて測定された数値は、画面を暗くするなど消費電力を抑えた状態で測定しているため、画面を明るくして使っていたり、アプリケーションソフトをたくさん起動していたりすると、JEITA測定法の駆動時間より短くなります。

バッテリー駆動時間の測定方法

JEITA測定法に基づいて測定された数値は、次の2つの方法でバッテリーが動作する時間を測定し、その平均をとった値です。

●**負荷をかけた状態での測定方法(測定法a)**
内部LCDの輝度(明るさ)を20cd/m²に設定し、指定の動画ファイル(MPEG1形式)をハードディスクから読み出しながら再生し続ける。

●**負荷をかけない状態での測定方法(測定法b)**
内部LCDの輝度を最も暗い状態([Fn]+[F1]を繰り返し押し、それ以上暗くならない状態)に設定し、デスクトップ画面を表示したまま放置する。

詳細な測定方法については、JEITAのWebページ(http://it.jeita.or.jp/mobile/)をご覧ください。

20cd/m²の設定方法

① (スタート)-[コントロールパネル]-[バッテリ設定の変更]をクリックする。
② お使いの電源プランの[プラン設定の変更]をクリックする。
③ [詳細な電源設定の変更]をクリックし、[ディスプレイ]をダブルクリックする。
④ [ディスプレイの明るさ]をダブルクリックし、各項目を20%に設定して[OK]をクリックする。

駆動時間を長くするには

次のようなことを行うことで、バッテリーの駆動時間を長くすることができます。

『操作マニュアル』「(レッツノート活用)」の「消費電力を節約する」もご覧ください。

●電源プランの設定を[省電力]に変更する

●周辺機器を使用しない

●新しいバッテリーパックを満充電にして使う

●インターネットなどの通信を行わない

●CPUに大きな負荷がかかるアプリケーションソフトは使用しない
- アプリケーションソフトによっては、起動するだけでもCPUに大きな負荷がかかるものがあります。

●使わないときは無線LANの電源を切る

●省電力設定ユーティリティを使う

●内部LCDの明るさを下げる

●エコノミーモード(ECO)を無効にする

●メモリーとビデオの省電力設定を使う
(➜ 52 ページ)

バッテリーパックの劣化を抑える

バッテリーパックは消耗品です。バッテリーパックの耐久年数は、使い方や使用環境によって大きく変わります。バッテリーパックの劣化を抑え、耐久年数を少しでも長くするためには、次の点を守ってください。

●エコノミーモード(ECO)を有効にする

●周囲の温度が10℃～30℃の場所で充電する

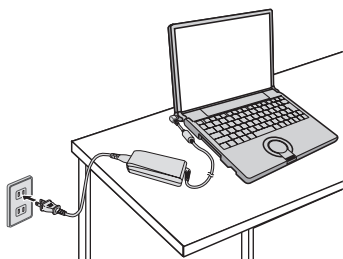
●バッテリーの充電は1日1回以内

●本機の電源を切った状態で充電する

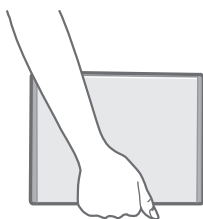
エコノミーモード(ECO)

エコノミーモード(ECO)を有効にすると、バッテリーの充電を満充電の80%までで停止します。100%（満充電）にしないことでバッテリーパックへの負担を軽減して劣化を防ぎ、バッテリーパックの耐久年数を長くします。工場出荷時は、エコノミーモード(ECO)は無効に設定されています。
使い方に合わせてエコノミーモード（ECO）を切り替え、バッテリーを上手にお使いください。

ACアダプターの接続が多いとき

●エコノミーモード（ECO）有効

- **満充電の80%までで充電を停止するため、バッテリーパックの劣化が抑えられます。**
- **長時間のバッテリー駆動が必要でない場合にお勧めします。**

持ち運ぶことが多いとき

●エコノミーモード（ECO）無効

- **100%まで充電できます。**
- **バッテリーの駆動時間を優先するときにお勧めします。**

エコノミーモード(ECO)の切り替え

画面右下の通知領域の [アイコン] または [アイコン] をクリックし、[エコノミーモード(ECO) 有効]または[エコノミーモード(ECO) 無効]をクリックしてください。

[アイコン] または [アイコン] が表示されていない場合は、[アイコン](スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[バッテリー]-[エコノミーモード(ECO)切り替えユーティリティ]をクリックしてください。
詳しくは、[アイコン]『操作マニュアル』「[アイコン]（バッテリー)」「バッテリーパックの劣化を抑える」をご覧ください。

使ってみる

スリープ状態/休止状態を使う

しばらく席を外すなど、一定時間操作しないときは、スリープ状態や休止状態を使って消費電力を抑えることができます。
アプリケーションソフトを終了することなく電源を切るため、電源を入れると、電源を切る前に使用していた状態（アプリケーションソフトやファイル）が画面に表示されます（これを「リジューム」といいます）。このため、すぐに操作を始めることができます。

スリープ状態と休止状態の違い

機能	状態の保存先	リジュームまでの時間
スリープ状態	メモリー	短い
休止状態	ハードディスク	やや長い

機能	ACアダプターの接続またはバッテリーパックの取り付け
スリープ状態	必要： スリープ状態のときに電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われます。
休止状態	不要： データ保持のために電力は必要ありません。しかし、ACアダプターを接続またはバッテリーパックを取り付けているとき、本体は電力を消費します。

重 要

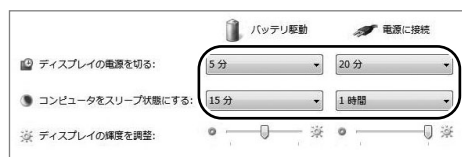
電源が切れている状態でも電力を消費します。バッテリー残量保持期間については、31ページをご覧ください。

スリープ状態に移行するまでの時間を変更/無効にする

出荷時は、操作やデバイスへのアクセスがない状態が一定時間続くと、スリープ状態に移行します。
移行するまでの時間を変更したり無効にしたりするには、次の手順で設定してください。
また、ディスプレイの電源が切れるまでの時間変更もできます。

1 通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

3 [ディスプレイの電源を切る]または[コンピュータをスリープ状態にする]までの時間を設定する。

- スリープ状態に移行しないようにするには[コンピュータをスリープ状態にする]を[なし]に設定します。
- ディスプレイの電源が切れないようにするには、[ディスプレイの電源を切る]を[なし]に設定します。

4 [変更の保存]をクリックする。

スリープ状態への移行時間を変更すると、休止状態に移行する時間が変更になる場合があります。
休止状態に移行する時間を確認してください（➜43ページ）。工場出荷時の設定（1080分）よりも短く設定しないようにしてください。

メ モ

スリープ状態に移行するまでの時間は、電源プランごとに設定できます。

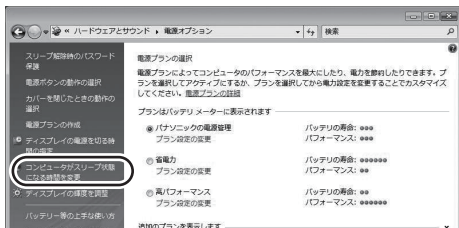
使ってみる

休止状態に移行するまでの時間を変更する

工場出荷時は、操作やデバイスへのアクセスがない状態が1080分続くと、休止状態に移行します。移行するまでの時間を確認したり変更したりするには、次の手順を行ってください。

変更する場合は、工場出荷時の設定（1080分）よりも短く設定しないようにしてください。短く設定すると、スリープ状態から休止状態へ移行する頻度が高くなります。移行時はハードディスクにデータを書き込むため、持ち運んでいる場合などは振動が加わることもあり、故障の原因になる場合があります。短く設定した場合は、本機を持ち運ばないようにしてください。

1 通知領域の または をクリックし、[その他の電源オプション]をクリックする。

2 [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックする。

3 [詳細な電源設定の変更]をクリックする。

4 [スリープ]をダブルクリックする。

ここで休止状態へ移行する時間を確認/変更する電源プランを選択することもできます。

5 [次の時間が経過後休止状態にする]をダブルクリックする。

6 項目をクリックし、休止状態へ移行するまでの時間を変更する。

7 [OK]をクリックする。

スリープ状態/休止状態にする

スリープ状態/休止状態にするには、4つの方法があります。
休止状態になるまで1 ～ 2分程度かかる場合があります。画面には何も表示されませんが、そのままお待ちください。

Fn キーを使う

- スリープ状態にする
  Fn + F7 を押します。
- 休止状態にする
  Fn + F10 を押します。

Windowsの終了画面を使う

(スタート)- をクリックし、[スリープ]または[休止状態]をクリックします。

電源スイッチをスライドする

電源スイッチをスライドし、ビープ音が鳴ったらすぐに電源スイッチから手を離します。設定に従いスリープ状態/休止状態に移行します（工場出荷時はスリープ状態に移行します）。

電源スイッチから手を離した後、電源状態表示ランプが消灯または点滅するまで電源スイッチを操作しないでください。
電源スイッチを4秒以上スライドしたままにすると、ピッという音の後、スリープ状態/休止状態に移行せず電源が切れます（強制終了）。この場合、保存していないデータは失われます。

Fn + F4 を押してスピーカーをオフにしている場合、ビープ音は鳴りません。また、Fn + F5 を押してスピーカーのボリュームを小さくしている場合、ビープ音も小さくなります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態/休止状態には移行しません。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとメンテナンス]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [電源ボタンを押したときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

ディスプレイを閉じる

ディスプレイを閉じると、設定に従ってスリープ状態/休止状態に入ります（工場出荷時はスリープ状態に移行します）。
きちんとディスプレイを閉じていなかったり、ディスプレイを閉じた後すぐにディスプレイを開けたりすると、スリープ状態/休止状態に入らないことがあります。

●設定を変更する

設定を変更することで、スリープ状態ではなく、休止状態やシャットダウン、何もしない設定にすることもできます。
「何もしない」に設定した場合は、スリープ状態/休止状態に入りません。

1 (スタート)-[コントロールパネル]-[システムとメンテナンス]-[電源ボタンの動作の変更]をクリックする。

2 [カバーを閉じたときの動作]の設定を変更し、[変更の保存]をクリックする。

リジュームする（スリープ状態/休止状態からの復帰）

リジュームするには、2つの方法があります。

工場出荷時の設定では、スリープ状態/休止状態からのリジューム時に、ログオンしているユーザーアカウントのWindows パスワードの入力が必要です。

電源スイッチをスライドする

ディスプレイを開ける

次の場合は、ディスプレイを開けるとリジュームします。

- [カバーを閉じたときの動作]を[スリープ状態]や[休止状態]に設定し、ディスプレイを閉じた場合
- スリープ状態/休止状態に入ってからディスプレイを閉じた場合

リジュームしない場合は、電源スイッチをスライドしてください。

メモ

USBキーボードのキーを押したり外付けマウスをクリックしたりすると、スリープ状態からリジュームするように設定できます（工場出荷時はリジュームするように設定されています）。設定方法は、『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「スリープ状態/休止状態を使う」の「リジュームする（スリープ状態/休止状態からの復帰）」をご覧ください。

使用上のお願い

スリープ状態/休止状態に入る前から、リジュームが完了するまでの間、それぞれ次のことにご注意ください。

なお、パソコンの動作を安定させるため、定期的に（1週間に1回程度）、スリープ状態/休止状態機能を使わないでWindowsを終了してください。

スリープ状態/休止状態に入る前

●保存していないデータや編集中のファイルを保存してください。
SDメモリーカード、外付けのCD/DVDドライブ、ハードディスク、ATAカードなどの外部装置のファイルを開いているときは、ファイルを閉じてください。

●工場出荷時の設定では、スリープ状態/休止状態からのリジューム時にWindowsパスワードの入力が必要です。
セキュリティのため、パスワード入力画面を表示する設定でお使いください。
パスワードの入力画面が表示されない場合は、次の手順で設定してください。

①(スタート)-[コントロールパネル]-[バッテリ設定の変更]-[スリープ解除時のパスワード保護]-[現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックする。
②「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックする。
③[パスワードを必要とする]をクリックし、[変更の保存]をクリックする。

なお、データの盗難防止や機密保護などセキュリティを重視される場合は、スリープ状態/休止状態を使用せずに電源を切ることをお勧めします。

●次の場合、スリープ状態/休止状態に入らないでください。
実行中のファイルやデータが壊れたり、これらの機能や周辺機器およびWindowsが正常に動作しなくなったりすることがあります。
- ハードディスク状態表示ランプ、SDメモリーカード状態表示ランプの点灯中(ドライブやカードへのアクセス中)
- オーディオの録音/再生中や、MPEGファイルの再生中
- ディスク（CDやDVDなど）への書き込み中
- 通信ソフトやネットワーク機能使用時(LAN Wake Up機能を使わない場合)、リジュームした後にネットワーク接続ができなかったり、Windowsが正常に動作しなくなったりすることがあります。
- 周辺機器を使っている場合、スリープ状態/休止状態機能を使ってこれらの機器が正常に動かなくなったときは、本機を再起動してください。

スリープ状態/休止状態処理中

スリープ状態の場合は電源状態表示ランプが点滅するまで、休止状態の場合は電源状態表示ランプが消灯するまで、次のことを行わないでください。

- キーボードやホイールパッド、電源スイッチの操作
- 外部マウスなど、周辺機器の操作
- ACアダプター/SDメモリーカードなどの抜き挿し
- ディスプレイの開閉
- 無線LAN切り替えスイッチの操作

スリープ状態/休止状態のとき

●周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

●スリープ状態のままで長時間使わない場合は、必ずACアダプターを接続しておいてください。
スリープ状態のときは、電力が消費されています。特に、通信用のPCカードをセットしたままの場合、消費電力が増えることがあります。電力の供給がなくなると、保持されていたデータは失われますので、長時間スリープ状態のままにする場合は、必ずACアダプターを接続してください。ACアダプターが接続できない場合は、データ保持のため休止状態にしておくことをお勧めします。

リジューム後

リジューム後、Windowsの画面が完全に復帰して初期化などが完了するまで（画面が復帰して約15秒間/ネットワークに接続している場合は約60秒間）、次のことを行わないでください。

- キーボード（パスワードの入力は除く）やホイールパッド、電源スイッチの操作
- 外部マウスなど、周辺機器の操作
- ACアダプターやSDメモリーカードなどの抜き挿し
- ディスプレイの開閉
- Windowsの終了や再起動
- スリープ状態/休止状態機能の使用
- 無線LAN切り替えスイッチの操作

使ってみる

メモリー容量を増やす

本機には拡張メモリースロットが1つ用意されています。RAMモジュールを増設したり、RAMモジュールが増設済みの機種の場合はより容量の大きいRAMモジュールに変更することで、搭載されているメモリー容量を増やすことにより、Windowsやアプリケーションソフトの処理速度を上げることができます（お使いの使用条件により効果は異なります）。

重 要

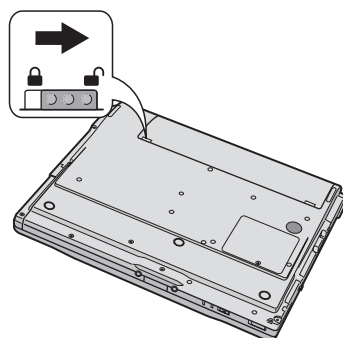
次のことにご注意ください。

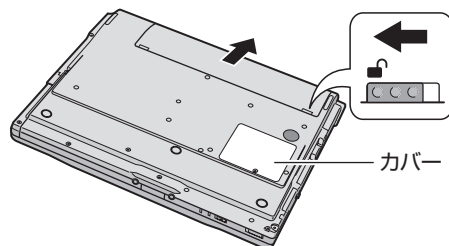
- RAMモジュールはCF-BAW0512Uなどの推奨品をお使いください。
  推奨品については、弊社の最新のカタログやWebページでご確認いただけます。推奨品以外のRAMモジュールを取り付けると、正常に動作しなかったり、故障の原因になったりする場合があります。
  また、場合によっては発熱によりカバーが変形する場合があります。
- 使用可能なRAMモジュールの仕様については、「仕様」（➜83ページ）をご覧ください。
- 推奨品以外のRAMモジュールを使用した場合や誤った方法で取り付けまたは取り外した場合の故障や損害について、弊社では責任を負うことはできません。
  RAMモジュールの種類や取り付け方法をご確認のうえ、正しい方法で装着してください。
- RAMモジュールは、静電気に対して非常に弱い部品で、人間の体内にたまった静電気により破壊される場合があります。
  取り付け/取り外しのときは、本体内部の部品や端子などに触れないでください。
- RAMモジュールの取り付け/取り外しは、本体の電源を切り、ACアダプターやバッテリーパックを取り外してから行ってください。
  スリープ状態/休止状態のときに、取り付け/取り外しを行わないでください。
- ネジ山をつぶさないよう、ネジの大きさに合ったドライバーをお使いください。

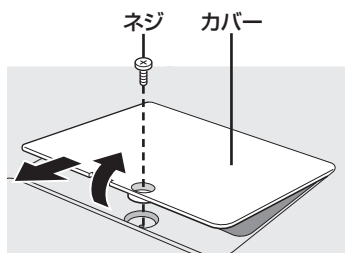
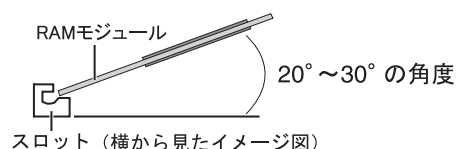
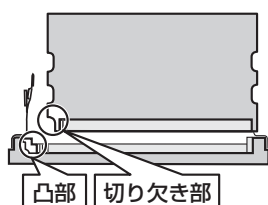
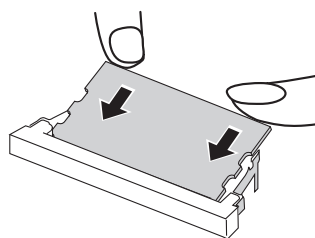
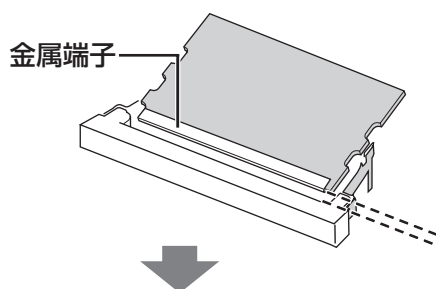
RAMモジュールの取り付け

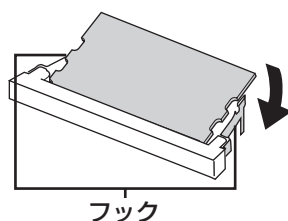
1 パソコンの電源を切り、ACアダプターを取り外す。

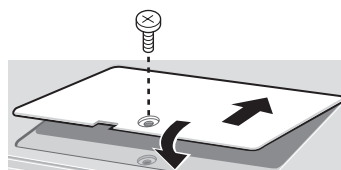
2 本体を裏返す。

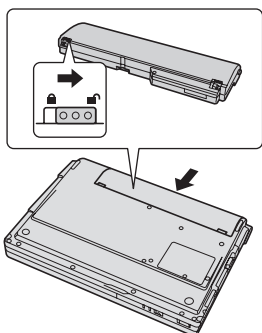
3 バッテリーパックの左側のラッチ（手動）をロック解除🔓の方向にスライドする。

4 右側のラッチをロック解除🔓の方向にスライドした状態で、バッテリーパックの中央付近を本体と平行に外側へ押し出す。

ラッチがロックされた状態で、無理にバッテリーパックを取り外さないでください。バッテリーパックが破損するおそれがあります。

5 ネジを取り外し、カバーを引き抜いて外す。

拡張メモリースロットの位置は、手順4をご覧ください。

6 スロットの凸部とRAMモジュールの切り欠き部の向きを合わせて持ち、スロットと平行にRAMモジュールを軽く合わせる。

7 金属の端子が見えなくなるまで、スロットと平行にしっかりと挿し込む。

●挿し込みにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きを確認してください。
●しっかりと挿し込まずに次の手順を行うと、スロットが破損する場合があります。

8 左右のフックでロックされるまで倒す。

倒しにくい場合は、無理に力を加えず、再度モジュールの向きや挿し込み具合を確認してください。

9 カバーを取り付け、ネジで固定する。

10 バッテリーパックの左側のラッチ（手動）をロック解除🔓の方向にスライドさせ、バッテリーパックを矢印の方向にスライドして取り付ける。

バッテリーパックの向きに注意してください。

11 左側のラッチ（手動）をロック🔒の方向にスライドし、しっかりと固定されていることを確認する。

右側のラッチは、バッテリーパックが正しく取り付けられると自動的にロックされます。左右のラッチが正しくロックされていることを確認してください。ロックされていない状態で本機を持ち運ぶと、バッテリーパックが外れることがあります。

12 ACアダプターを取り付ける。

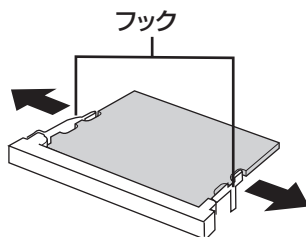
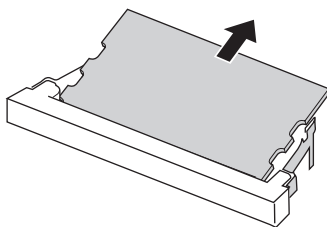
メモ

- RAMモジュールの挿し方を間違えたり、推奨品以外のRAMモジュールを取り付けたりすると、パソコンの電源を入れたときに「増設RAMモジュールエラーです」というエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、パソコンの電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認して、正しく取り付け直してください。
- 増設したメモリーサイズは、セットアップユーティリティの「情報」メニュー（➜52ページ）の[メモリーサイズ]で確認できます。工場出荷時のメモリーサイズは「仕様」（➜83ページ）のメインメモリーをご覧ください。

RAMモジュールの取り外し

「RAMモジュールの取り付け」の手順1～5の後、次の手順で取り外してください。

1 左右のフックを外側にゆっくりと広げる。

RAMモジュールが斜めに持ち上がります。

2 ゆっくりとスロットから取り外す。

3 カバーとバッテリーパック、ACアダプターを取り付ける。（➜47ページ「RAMモジュールの取り付け」の手順9～12）

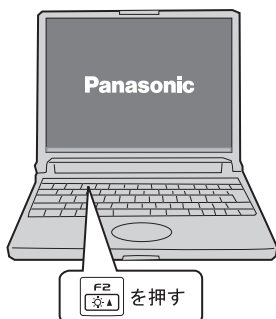
セットアップユーティリティ

セットアップユーティリティは、本機の動作環境（パスワードや起動ドライブなど）を設定するためのユーティリティです。以下の6メニューがあります。
「情報」、「メイン」、「詳細」、「セキュリティ」、「起動」、「終了」

セットアップユーティリティを起動する/終了する

起動する

1. 本機の電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

2. 本機の起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2を押す。

3. パスワードを設定している場合は、下の画面が表示されるので、パスワードを入力し、Enter を押す。

パスワードを入力してください [ ]

メモ

- F2を押すタイミングが遅いとセットアップユーティリティは起動しません。
  Windowsを終了して再起動してください。
- セットアップユーティリティの画面を内部LCDと外部ディスプレイの両方に表示することはできません。
  Fn+F3を押して表示先を切り替えると、外部ディスプレイまたは内部LCDのどちらかに表示されます。
- パスワードを設定していても[起動時のパスワード]が[無効]になっている場合、パソコン起動時にパスワードの入力は不要です。
  セットアップユーティリティを起動したときは、パスワードの入力が必要です。

終了する

1. ←→またはEscを押して、「終了」メニューを表示する。

2. 終了方法の項目を選んでEnterを押す。

3. [はい]を選んでEnterを押す。

使う人ごとに設定できる項目を制限する

「起動する」(➜49ページ)の手順3で入力したパスワードの種類によって、表示/設定できる項目が異なります。

例えば、本機を複数の人で使う場合は、スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を設定します。パソコンに詳しくない人など、設定できる項目を制限したい人には、ユーザーパスワードだけを教えておきます。

●**スーパーバイザーパスワードを入力した場合**

セットアップユーティリティのすべての項目が設定できます。

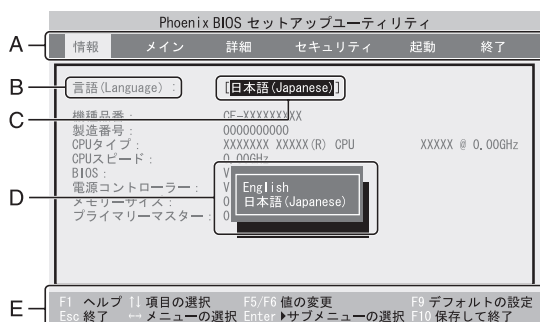
●**ユーザーパスワードを入力した場合**

次のような制限があります(可能:○、不可能:×)。また、各項目の設定値を工場出荷時の値(パスワード、システム時間、システム日付を除く)に戻す F9 は使えません。

メニュー	参照	変更
「詳細」メニュー	○	×
「起動」メニュー	○	×
「セキュリティ」メニュー:[データ実行防止機能]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[起動時のパスワード]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[スーパーバイザーパスワード設定]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[Setup Utility 表示]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[Boot First Menu]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ハードディスク保護]	×	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード保護]	○	×
「セキュリティ」メニュー:[ユーザーパスワード設定]	○	○*1
「セキュリティ」メニュー:[内蔵セキュリティ(TPM)設定]	×*2	×*2
「終了」メニュー:[デフォルト設定]	×	×

*1 [ユーザーパスワード保護]が[保護しない]に設定されている場合のみ、ユーザーパスワードの変更が可能。ただし、ユーザーパスワードを削除することはできません。

*2 「内蔵セキュリティ(TPM)設定」サブメニューの[設定サブメニュー保護]が[保護しない]に設定されている場合は、参照/変更が可能。

セットアップユーティリティを操作する

A. ←→を押してポインターを移動させ、メニューを選ぶことができます。

B. 選択できる項目が複数ある場合は↑↓を押して項目を選ぶことができます。選択された項目は色が変わります。

C. 反転表示されている項目は Enter を押してサブメニューを表示させることができます。

D. サブメニューが表示されているときは ↑↓を押して項目を選ぶことができます。

E. 設定に使えるキーを表示しています。

設定に使うキー

F1 ：ヘルプを表示（↑↓でヘルプの画面を 1 行ずつスクロールする。F1 を再度押すとヘルプの画面を閉じる）。

Esc ：サブメニューの終了、または「終了」メニューを表示。

↑↓ ：ポインターを上下に移動（項目を選ぶときに使用）。

←→ ：「情報」「メイン」「詳細」「セキュリティ」「起動」「終了」の各メニューを選択。

F5 ：各項目の前候補を選択（設定値の変更時に使用）。

F6 ：各項目の次候補を選択（設定値の変更時に使用）。

Enter ：↑↓で項目を選んだ後に設定できる各項目のサブメニューを表示。

F9 ：各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す。

F10 ：設定を保存して終了。

「情報」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
言語（Language）	セットアップユーティリティの言語を選択します。	English 日本語（Japanese）
機種品番 製造番号 CPU タイプ CPU スピード BIOS 電源コントローラー メモリーサイズ プライマリーマスター	情報の表示・確認用です。項目を選択したり変更したりすることはできません。	

「メイン」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
システム時間	24時間制です。Tabでカーソルを時、分、秒に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xx:xx:xx]
システム日付	Tabでカーソルを年、月、日に移動できます。キーボードから直接入力するか、F5 F6で数値の修正ができます。	[xxxx/xx/xx]
フラットパッド	ホイールパッドを使う（有効）/使わない（無効）を設定します。	無効 有効
Fn/左Ctrlキー	内部キーボードの Fn と Ctrl（左側）の機能を入れ換えず工場出荷時のまま使う(標準)/入れ換えて使う(入れ換え)を設定します。入れ換えた場合、Fn（「Ctrl」と印刷されている左側のキー）と Ctrl（右側）のキーを押しながらもう1つのキーを押す操作はできません。キー表面の印刷やキーそのものを入れ換えることはできません。	標準 入れ換え
ディスプレイ	Windowsが起動するまでの表示先を設定します。外部ディスプレイを接続していないときは、[外部ディスプレイ]を選んでいても、すべての情報が内部LCDに表示されます。Windows起動後は、デスクトップの何もないところを右クリックして[グラフィック プロパティ]で設定した内容が有効になります。	外部ディスプレイ 内部LCD
拡張表示	Windowsが起動するまでの表示を拡張表示にする（有効）/しない（無効）を設定します。	無効 有効
メモリー / ビデオ省電力	システムメモリーとビデオの省電力設定を行います。 [パフォーマンス優先]では、メモリーのコアクロックを最大533MHzに、ビデオのレンダークロックを最大166MHzに設定します。[バッテリー優先]では、メモリーを最大400MHzに、ビデオを最大133MHzに設定し消費電力を抑えます。	パフォーマンス優先 バッテリー優先

メニュー	働き	選択項目
充電中バッテリー状態表示	バッテリーパックの充電中にバッテリー状態表示ランプを点灯する/明滅するを設定します。	点灯 明滅
LED輝度	電源状態表示ランプの明るさを設定します。 [連動]では、内部LCDの明るさに合わせて状態表示ランプの明るさが変わります。[減光]では、状態表示ランプは常に暗くなります。	連動 減光
温度制御	温度制御の設定をします。[拡張]に設定すると、温度が高い環境での使用に適した温度制御を行います。	標準 拡張

「詳細」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
Core Multi-Processing	Core Multi-Processing（複数のプロセッサーコアによる処理の分散）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 工場出荷時のWindows Vista使用時は[有効]のままお使いください。[無効]に設定した場合の動作はサポートしていません。	無効 有効
Intel(R) Virtualization Technology	Intel(R) Virtualization Technology の[有効]/[無効]を設定します。[有効]に設定すると、Intel(R) Virtualization Technology に対応した仮想化ソフトウェアを使用する場合に、CPUの負荷を軽減することができます。工場出荷時は[無効]に設定されています。	無効 有効
モデム	内蔵モデムの機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
LAN	内蔵LAN の機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
無線LAN	内蔵無線LAN の機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
PCカードスロット	PCカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
SDスロット	SDメモリーカードスロットを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
USBポート	USBポートを使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。	無効 有効
レガシー USB	Windowsが起動する前に、USBキーボード、USBフロッピーディスクドライブおよびUSB CD/DVDドライブなどを本機に認識させる機能を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。[USBポート]が[有効]に設定されている場合のみ、効果があります。	無効 有効

「セキュリティ」メニュー

（アンダーラインは工場出荷時の設定）

メニュー	働き	選択項目
データ実行防止機能	データ実行防止機能（プログラムのメモリー（バッファー）を悪用した不正プログラムの実行を阻止する機能）を使う（有効）/使わない（無効）を設定します。 通常は[有効]に設定しておいてください。	無効 有効
起動時のパスワード	パソコンの起動時にスーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードの入力を必要とする（有効）/必要としない（無効）を設定します。	無効 有効
スーパーバイザーパスワード設定	セットアップユーティリティの設定を他の人に変更されたくないとき設定します。また、本機を起動されたくない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した後、[起動時のパスワード]を[有効]に設定してください。	サブメニュー表示
Setup Utility表示	起動後すぐに表示される「Panasonic」起動画面の下に[Press F2 for Setup/F12 for LAN]というメッセージを表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。	無効 有効
Boot First Menu	「起動時のメニュー」を表示させる（有効）/表示させない（無効）を設定します。 「起動時のメニュー」は、電源を入れ「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押すと表示されるデバイス選択画面です。	無効 有効
ハードディスク保護	ハードディスクを別のパソコンに取り付けた際に、ハードディスクのデータが読み書きできないように保護する（有効）/保護しない（無効）を設定します。スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	無効 有効
ユーザーパスワード保護	ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、ユーザーパスワードの変更を許可する（保護しない）/許可しない（保護する）を設定します。	保護しない 保護する
ユーザーパスワード設定	本機を複数の人でお使いになるときなどに設定します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。	サブメニュー表示
内蔵セキュリティ(TPM)設定	内蔵セキュリティチップ（TPM）の設定に関するサブメニューを表示します。 スーパーバイザーパスワードが設定されているときのみ設定できます。 • 設定サブメニュー保護 ユーザーパスワードでセットアップユーティリティを起動したときに、[内蔵セキュリティ（TPM）設定]を表示する（保護しない）/表示しない（保護する）を設定します。 • 内蔵セキュリティチップ（TPM） 内蔵セキュリティチップ（TPM）を使用する（有効）/使用しない（無効）を設定します。 • 所有者情報の初期化 内蔵セキュリティチップ（TPM）内に保持された所有者情報を初期化することで内蔵セキュリティチップ（TPM）により保護されたデータを復元または利用できないようにします。本機を廃棄・譲渡する際に使用してください。 Escを押すと、設定した内容を適用してサブメニューを閉じます。	サブメニュー表示

セットアップユーティリティでパスワードを設定する

セットアップユーティリティでパスワードを設定すると、セットアップユーティリティ起動時にパスワードの入力が必要になります。また、[起動時のパスワード]を[有効]に設定しておくと、電源を入れた直後にパスワード入力が必要になるため、第三者の不正な利用を防ぐことができます。

設定する前に、必ず 『操作マニュアル』「(セキュリティ)」の「パソコン起動時のパスワードを設定する」をご覧ください。

1 **パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。**

2 **パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間にF2を押してセットアップユーティリティを起動する。**

3 **←→で[セキュリティ]を選ぶ。**

スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。
ユーザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[ユーザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。

●ユーザーパスワードを設定するには、まずスーパーバイザーパスワードを設定する必要があります。

4 **[新しいパスワードを入力してください]の[　　　　]の中に新しいパスワードを入力し、Enterを押す。**

●入力したパスワードは画面には表示されません。
●パスワードに使える文字は、半角の英数字とスペースで最大32文字です。
・大文字、小文字の区別はありません。
・数字はキーボード上段の数字キーを使って入力してください。
・ShiftやCtrlなどのキーと組み合わせて入力することはできません。

5 **[新しいパスワードを確認してください]の[　　　　]の中に手順4で入力したパスワードを再度入力し、Enterを押す。**

6 **確認の画面でEnterを押す。**

7 **F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。**

重要

パスワードは忘れないようにしてください。

●**お客さまが設定されたパスワードなど、セキュリティに関する設定は、弊社のサービスセンターなどで解除することはできません。**
パスワードなどの設定内容は忘れないようにしてください。

●**スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合**
有償での修理が必要になります。修理窓口へお問い合わせください。お持ち込みいただき、数日間お預かりさせていただくことになります。セットアップユーティリティの設定は工場出荷時の状態に戻ります。また、ハードディスク保護を有効に設定している場合、修理でも無効にできませんので、パスワードは絶対に忘れないようにご注意ください。

●ユーザーパスワードを忘れてしまった場合
セットアップユーティリティを起動してパスワード入力画面でスーパーバイザーパスワードを入力すると、ユーザーパスワードを設定し直すことができます。
スーパーバイザーパスワードを知らない場合は、スーパーバイザーパスワードを設定した人にご相談ください。

●本機の修理を依頼される場合
スーパーバイザーパスワードとユーザーパスワードの両方を無効にしておいてください。

ハードディスク保護を設定する

セットアップユーティリティのパスワードを設定しておくと、パスワードを知らない第三者がパソコンを使うことはできなくなりますが、パソコンを分解し、内蔵のハードディスクを取り外して他のパソコンに取り付けると、ハードディスク内に保存されている情報が読まれてしまうおそれがあります。
ハードディスク保護は、データの完全な保護を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

1 セットアップユーティリティを起動する。（➜55ページ手順1と2）
パスワードの入力画面が表示されたら、スーパーバイザーパスワードを入力してください。
スーパーバイザーパスワードを設定していない場合は、設定してください。（➜手順2）

2 ←→で[セキュリティ]を選ぶ。
スーパーバイザーパスワードを設定する場合：
↑↓で[スーパーバイザーパスワード設定]を選び、Enterを押す。

3 ↑↓で[ハードディスク保護]を選び、Enterを押す。

4 ↑↓で[有効]を選び、Enterを押す。

5 確認の画面でEnterを押す。

6 F10を押し、[はい]を選んでEnterを押す。

起動時に「ハードディスク保護により､アクセスが禁止されています」と表示された場合は､セットアップユーティリティを起動し、設定内容をハードディスク保護を設定したときと同じ内容に設定し直してください。

「起動」メニュー

「起動」メニューには、接続されている機器の名称が表示されます。
次の方法でオペレーティングシステムを起動するデバイスの優先順位を設定します。

- 優先順位を1つ上げる
  ↑↓で[起動順位]内のデバイスを選択してF6を押す。
- 優先順位を1つ下げる
  ↑↓で[起動順位]内のデバイスを選択してF5を押す。
- 起動順位を工場出荷時の設定に戻す
  1を押す。
  工場出荷時は、USB FDD→IDE HDD→USB CDD→PCI LANの順番に設定されています。
- [起動対象外]のデバイスを[起動順位]に移動する（またはその逆）
  ↑↓でデバイスを選択してXを押す。
  [起動対象外]から[起動順位]へ移動した場合は、移動したデバイスは最後尾に表示されます。
  必要に応じて、起動順位を設定してください。

メモ

●USBポートに接続している機器から起動する場合、次の設定になっていることを確認してください。
- 「詳細」メニューの[USBポート]が[有効]
- 「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効]

●同一の機器が複数接続されている場合、1つの機器の名称だけが表示されます。

●オペレーティングシステムを起動するデバイスは、本機の起動時にも選択できます。
電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されたらすぐにEscを押すと、デバイスを選択する「起動時のメニュー」が表示されます。実際に起動可能なデバイスのみ表示します。
- セットアップユーティリティの「起動」メニューの設定を変更すると、「起動時のメニュー」の表示も変更されます。
- 「セキュリティ」メニューの[Boot First Menu]が[有効]に設定されているときのみ表示します。

●起動できる別売りのフロッピーディスクドライブおよびCD/DVDドライブについては、付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』をご覧ください。

●[起動対象外]に表示されているデバイスからは起動できません。また、優先順位も変更できません。

「終了」メニュー

メニュー	働き
設定を保存して終了	設定内容を保存して終了します。
設定を保存しないで終了	設定内容を保存しないで終了します。
デフォルト設定	セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻します。
設定を戻す	変更前の設定に戻します。
設定を保存する	設定内容を保存します。

パーティションを変更する

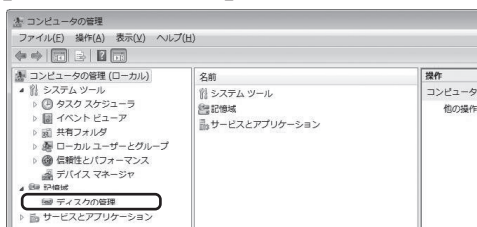
パーティションとは

ハードディスク上に作成した領域（区画）のことです。
1つのハードディスクに複数のパーティションを作成することで、1つのハードディスクを複数のディスクのように扱うことができます。
工場出荷時、本機のパーティションは1つです（修復用領域以外）。

1 (スタート)をクリックし、[コンピュータ]を右クリックする。

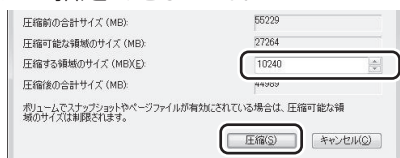
2 [管理]をクリックする。

「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[OK]をクリックします。

3 [ディスクの管理]をクリックする。

4 Windowsが使用しているパーティション（工場出荷時はCドライブ）を右クリックし、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

下記は表示例です。パーティションのサイズなどはモデルによって異なります。

5 [圧縮する領域のサイズ]を入力し、[圧縮]をクリックする。

ハードディスクの一部の領域を圧縮することで、その中に複数のパーティションを作成することができます。
最初から画面に表示されている以上のサイズは指定できません。

6 [未割り当て]領域を右クリックし、[新しいシンプルボリューム]をクリックする。

[未割り当て]領域は手順5で圧縮した領域です。

7 「新しいシンプルボリュームウィザードの開始」画面が表示されたら[次へ]をクリックする。

次の設定を行ってください。
次の画面に移るには、[次へ]をクリックしてください。
① ボリュームサイズの指定
作成するパーティションのサイズを指定します。未割り当て領域をすべて使用する場合は、表示されたサイズのまま[次へ]をクリックしてください。
表示されたサイズより少ない数値を入力した場合、残りのサイズは「未割り当て」領域として残ります。
② ドライブ文字またはパスの割り当て
③ パーティションのフォーマット
②と③の設定を表示以外に変更する場合は専門的な知識が必要です。通常は表示されたままで[次へ]をクリックしてください。

8 [完了]をクリックする。

新しいパーティションのフォーマットが始まります。（手順7の③で「このボリュームを次の設定でフォーマットする」を選択した場合）
画面にフォーマットの進行が表示されますので、終了するまでお待ちください。

●パーティションを追加するには
「未割り当て」領域が残っている場合は手順6から、Windowsの領域にまだ余裕がある場合は手順4からの操作を行うことで、新しいパーティションを追加できます。

●パーティションを削除するには
手順4の画面で削除するパーティションを右クリックし、[ボリュームの削除]をクリックしてください。

再インストールする

再インストールとは

再インストールとはハードディスクをフォーマットして、Windowsをインストールし直すことです。

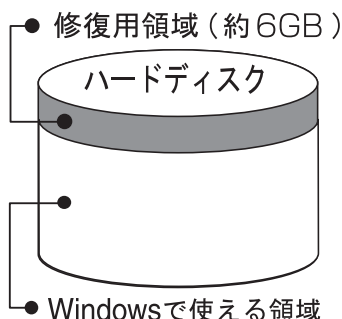
Windowsが起動しなくなったり、Windowsの動作が不安定になって修復できなくなったりした場合は、再インストールが必要です。

●**パーティションを複数作成している場合**
（➜59ページ）

Windows用とデータ用にパーティションを分けている場合は、データ用のパーティションをそのままにしてWindowsだけを再インストールすることができます。

重 要

ハードディスク内の修復用領域は絶対に削除しないでください。

本機のハードディスクには、システム回復オプションを収納した修復用領域があり、再インストールに必要なリカバリー用データも入っています。

●修復用領域を通常のドライブとして使用することはできません。

●リカバリー用データは、他のメディアや外付けのハードディスクなどにバックアップを取ることはできません。

万一、修復用領域が壊れたり、ハードディスクからの再インストールができなくなった場合は、プロダクトリカバリーDVD-ROMを使用してください。（➜63ページ）

●ハードディスクリカバリーはダイナミックディスク（ディスク管理方式の一種）には対応しておりません。ダイナミックディスクへの変換は行わないでください。

再インストールの流れ

セットアップユーティリティを工場出荷時の設定に戻す。

再インストールする（約30 分）。

Windows のセットアップを行う。

セットアップユーティリティの設定を変更する（必要な場合のみ）。

インターネットに接続できる場合は、Windows Update を行う。

➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「Windowsを最新の状態にする」

再インストールの前に

周辺機器およびSDメモリーカードなどは、すべて取り外してください。特に、USBフロッピーディスクドライブ、USB接続のメモリーや外付けCD/DVDドライブ（プロダクトリカバリー DVD-ROM使用時は除く）、外付けのハードディスクを接続したままでは、再インストールが正常に行われない場合があります。

重 要

- **インストールしたアプリケーションソフトやメールの履歴などお客さまが作成したデータは、他のメディアや外付けのハードディスクへ必ずバックアップを取っておいてください。**
  再インストールを実行すると、ハードディスクの内容は消去され、工場出荷時の状態に戻ります。
- **データ用のパーティションを作成していた場合でも、予期しない誤動作／誤操作によりデータが消去されるおそれがあります。**

再インストールする

重 要

再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、あらかじめ変更した設定をメモしておくことをお勧めします。

3 F9 を押す。

次の画面で[はい]を選び、Enter を押してください。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい]　　[いいえ]

4 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

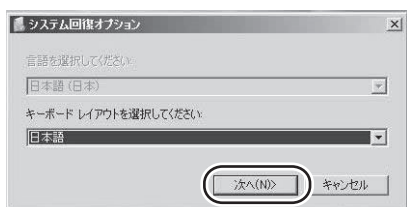
パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力して、Enter を押してください。

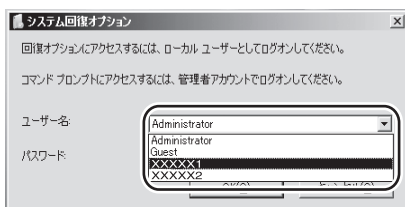
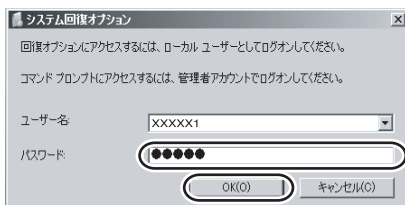
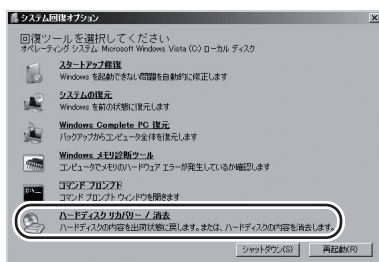
5 「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。

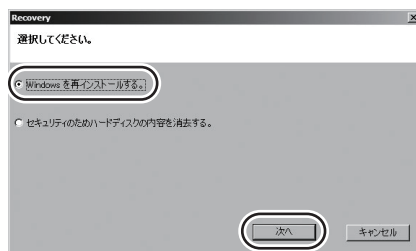
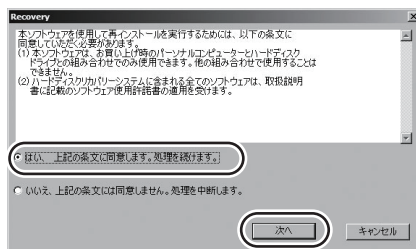
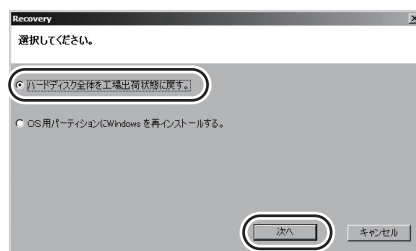
メ モ

- 「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、修復用領域が破損している可能性があります。そのときは、プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールしてください。（➜63ページ）

6 「詳細ブートオプション」画面で、↑ と ↓ を使って[コンピュータの修復]を選び、Enter を押す。

7 **[次へ] をクリックする。**
すでに選択されているキーボード以外は指定しないでください。

オペレーティングシステムの選択画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、手順9に進んでください。

8 **Windows で登録したユーザーアカウント名を選ぶ。**

パスワードを入力し、[OK] をクリックする。

9 **[ハードディスク リカバリー / 消去] をクリックする。**

次の画面が表示されるまでお待ちください。

10 **[Windowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。**
[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

11 **[はい、上記の条文に同意します。処理を続けます。] をクリックして選び、[次へ] をクリックする。**

12 **再インストールの方法を選ぶ。**

再インストールには、次の2つの方法があります。

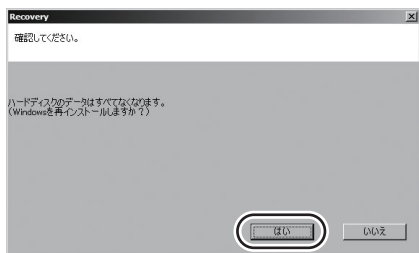
- **工場出荷時の設定にする場合**（リカバリー領域以外のパーティションは1つ）

[ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

- **パーティション構成を変更せず、OS用のパーティションにWindowsを再インストールする場合**

	Windows (20GB以上必要)		

[OS用パーティションにWindowsを再インストールする。]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

13 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

（画面は[ハードディスク全体を工場出荷状態に戻す。]を選んだ場合の例です。）

- 再インストールが始まります。
- 再インストールの途中で電源を切るなどして、再インストールを中止しないでください。また、「システム回復オプション」の画面（62ページの手順9の画面）を操作しないでください。Windowsが起動しなくなったり、データが消失して再インストールを実行できなくなったりするおそれがあります。

14 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

パソコンの電源が切れます。

15 電源を入れ、Windowsのセットアップを行う。

（➜『取扱説明書 準備と設定ガイド』）

16 セットアップユーティリティを起動して、必要に応じて設定を変更する。

パスワード、日付、時間を除くすべての設定は、工場出荷時の状態に戻っています。

17 インターネットに接続できる場合は、(スタート)-[すべてのプログラム]-[Windows Update]をクリックし、Windows Updateを行う。

プロダクトリカバリー DVD-ROMを使う

修復用領域が破損しているなどの原因で、F8を押しても「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールしてください。
ハードディスクのデータの消去や、「システム回復オプション」の起動も行うことができます。
外付けCD/DVDドライブ（別売り）を用意してください。（➜『取扱説明書 準備と設定ガイド』の「別売り商品」）

1 外付け CD/DVD ドライブを本機に接続する。

接続のしかたは、外付けCD/DVDドライブの説明書をご覧ください。

2 「再インストールする」（➜61ページ）の手順1 ～ 3を行う。

3 ←と→を使って「起動」メニューに移動し、↑と↓を使って[USB CDD]を選び、F6を押して[USB CDD]が1番目になるように設定する。

4 プロダクトリカバリー DVD-ROMをCD/DVDドライブにセットする。

5 F10を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enterを押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

パスワードを設定している場合、以降の手順で「パスワードを入力してください」と表示されることがありますので、パスワードを入力して、Enterを押してください。

以降は画面の指示に従って、再インストールや、ハードディスクのデータの消去などを行ってください。

本機の廃棄・譲渡時にデータを消去する

ハードディスクデータ消去ユーティリティを利用すれば、内蔵ハードディスクに保存されているすべてのデータやソフトウェアを、復元できないように消去できます。本機を廃棄または譲渡する場合などにご利用ください。

ハードディスクデータ消去ユーティリティは、データを上書きする方法でデータを消去していますが、予期せぬ誤動作あるいは誤操作により完全に消去できない場合があります。また、特殊な機器により読み出される可能性もあります。機密度の高いデータを消去する必要がある場合は、専門業者に消去を依頼してください。また、このユーティリティの使用により生じたお客さまの損害については補償いたしかねます。

データ消去の前に

次の点を確認してください。

- 必ず、ACアダプターを接続してください。
- 内蔵ハードディスクにのみ有効です。外付けハードディスクには働きません。
- 実行するとハードディスクからは起動しなくなります。
- 損傷しているハードディスクのデータは消去できません。
- パーティションを指定してデータを消去することはできません。
- 修復用領域は消去されません。

データをすべて消去する

1 ACアダプターを接続する。

2 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押し、セットアップユーティリティを起動する。

- パスワードを設定している場合は、次の画面でスーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

パスワードを入力してください [ ]

- 各項目の設定値を工場出荷時の値（パスワード、システム時間、システム日付を除く）に戻す F9 は使えません。

3 F9 を押す。

次の画面で[はい]を選び、Enter を押してください。

セットアップ確認
デフォルト値をロードしますか？
[はい] [いいえ]

4 F10 を押して、確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押す。

セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

5 「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続け、「詳細ブートオプション」画面が表示されたら、指を離す。

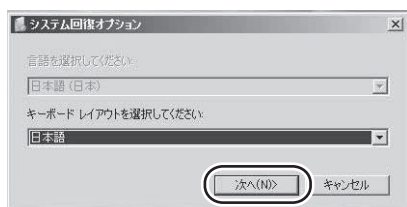
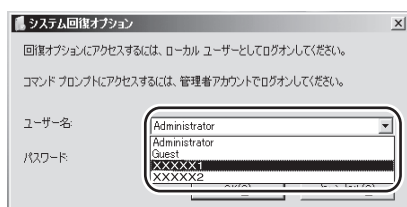
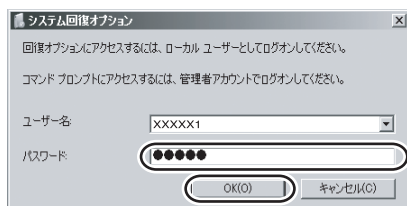
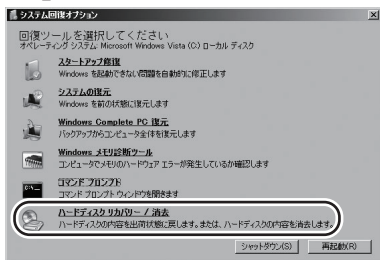
メモ

- 「詳細ブートオプション」画面が表示されない場合は、修復用領域が破損している可能性があります。そのときは、プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って再インストールしてください。（➡63ページ）

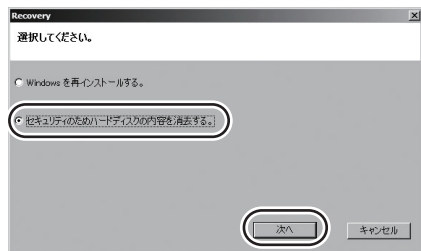
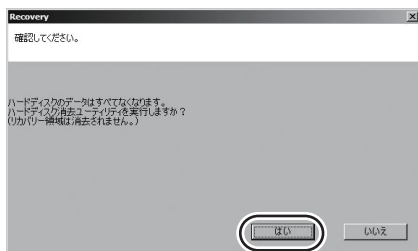
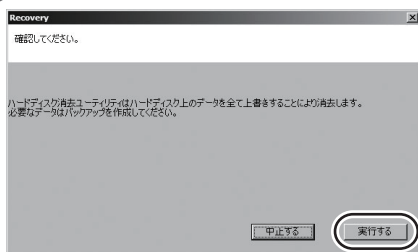
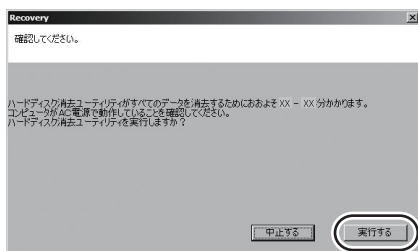
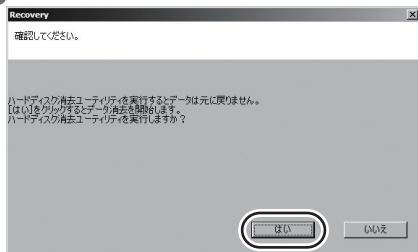
6 「詳細ブート オプション」画面で、↑ と ↓ を使って[コンピュータの修復]を選び Enter を押す。

使ってみる

7 [次へ] をクリックする。

すでに選択されているキーボード以外は指定しないでください。

8 Windows で登録したユーザーアカウント名を選ぶ。

パスワードを入力し、[OK] をクリックする。

9 [ハードディスク リカバリー / 消去] をクリックする。

次の画面が表示されるまでお待ちください。

10 [セキュリティのためハードディスクの内容を消去する]をクリックして選び、[次へ]をクリックする。

[キャンセル]をクリックすると、操作を中止できます。

11 確認のメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする。

12 [実行する]をクリックする。

13 再度、[実行する]をクリックする。

14 [はい]をクリックする。

ハードディスクのデータ消去が開始されます。

15 終了のメッセージが表示されたら、[OK]をクリックする。

- パソコンの電源が切れます。
- 何らかの原因で完了できなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。

パソコンの廃棄・譲渡時におけるハードディスク内のデータ消去について

データ流出のトラブルを回避するためにはハードディスク内に記録されたすべてのデータを、お客さまの責任において消去することが非常に重要です。

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンの中にあるハードディスクという記憶装置に、お客さまの重要なデータが記録されています。

したがって、そのパソコンを廃棄または譲渡するときには、これらの重要なデータを消去することが必要です。

ところが、このハードディスク内に記録されたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般には次のような操作を行います。

- 「削除」操作を行う
- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「ごみ箱を空にする」機能を使ってデータを消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- 再インストールをして、工場出荷状態に戻す

しかし、これらの操作を行っても、ハードディスク内に記録されたファイルの管理情報が変更されてデータを呼び出す処理ができなくなるだけで、本来のデータは残っているという状態にあります。

したがいまして、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある人によって、このパソコンのハードディスク内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（ともに有償）を利用するか、ハードディスク内のデータを金槌や強い磁気によって物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

ハードディスク内にお客さまがインストールした市販のソフトウェアを削除せずに本機を譲渡すると、そのソフトウェアのライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

起動/終了/スリープ状態/休止状態のQ&A

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合は、67 ～ 82ページで解決方法を確認してください。
解決方法が見当たらない場合は、デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックして 『困ったときのQ&A』も確認してください。

質　問	対　策
本機が起動しない / バッテリー状態表示ランプ が点灯しないときは？	AC アダプターまたは十分に充電されたバッテリーパックが正しく取り付けられているか確認してください。➜『取扱説明書 準備と設定ガイド』
	バッテリーパックのラッチがロックの方向にあり、しっかりと固定されていることを確認してください。
	お買い上げ後、RAMモジュールを増設した場合（または交換した場合）は、RAMモジュールを取り外して再度電源を入れてください。RAMモジュールを外すと電源が入る場合は、RAMモジュールの問題が考えられます。 ●本機の電源を切り、推奨品のRAMモジュールであることを確認し、正しく取り付け直してください。 ●RAMモジュールの仕様を確認してください。 RAMモジュールについては、「メモリー容量を増やす」（➜46ページ）または「仕様」（➜83ページ）をご覧ください。
	CPUの温度が上がっている可能性があります。CPUの温度が上がっていると、CPUの過熱を防止するための機能が自動的に働き、本体が起動しないようになっています。しばらくしてから再度電源を入れてください。それでも起動しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
	ACアダプターとバッテリーパックを正しく接続していてもバッテリー状態表示ランプが点灯しないときは、ACアダプターの保護機能が働いている場合があります。ACコードを抜き、1分以上待ってから再度接続してください。それでもランプが点灯しない場合は、ご相談窓口にご相談ください。
SD/SDHC メモリーカードをセットしたまま Windows を起動すると、チェックディスク(CHKDSK)が始まるときは？	SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードへの書き込み中に、カードを取り出しませんでしたか？チェックディスクが終了するまでそのままお待ちください。 ➜『操作マニュアル』「(周辺機器)」の「SD/SDHCメモリーカードを使う」

起動/終了/スリープ状態/休止状態のQ&A

質　問	対　策
電源は入るがWindowsが正常に起動しないときは?	電源状態表示ランプ⏻が点灯している場合は、ハードディスク状態表示ランプが点灯していないなど、ハードディスクにアクセスしていないことをご確認のうえ、4秒以上スライドして電源を切ってください。その後、再度電源を入れてください。
	休止状態からのリジューム時にWindowsが起動しなくなった場合は、プロダクトリカバリーDVD-ROMを使って「システム回復オプション」を起動し、[スタートアップ修復]を実行してください（➜81ページ）。それでもWindowsが起動しない場合は、プロダクトリカバリーDVD-ROMを使って再インストールしてください。
	セットアップユーティリティの設定を工場出荷時に戻してください。（➜51ページ）
	周辺機器を接続している場合は、周辺機器を取り外してください。周辺機器を取り外すと起動できた場合は、周辺機器の問題が考えられます。周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	次の手順で、セーフモードで起動し、エラーの内容を確認してください。 ① 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に F8 を押し続ける。 ② 「詳細ブートオプション」が表示されたら指を離す。 ③ ↑ ↓ で[セーフモード]を選ぶ。 ④ Enter を押す。以降は、画面に従って操作してください。
ビープ音（ピーピー）が鳴り、「増設RAMモジュールエラーです」または「標準RAMのエラーです」と表示されるときは?	「増設RAMモジュールエラーです」と表示された場合は、RAMモジュールが正しく取り付けられていません。電源を切り、RAMモジュールが推奨品であることを確認し、正しく取り付け直してください。
	「標準RAMのエラーです」と表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。
「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示されたときは?	システムを起動できないフロッピーディスクがフロッピーディスクドライブにセットされていないか確認してください。セットされている場合は、取り出してから何かキーを押してください。
	USB機器を接続している場合は、USB機器を取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで[レガシーUSB]を[無効]に設定してください。 セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ
	設定しても同じメッセージが表示される場合、ハードディスクに何らかの問題が発生していることがあります。 ●再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。（➜60ページ）

質　問	対　策
フロッピーディスクから起動できないときは？	パナソニック製外部FDD（品番：CF-VFDU03U）を接続しているか確認してください。他のフロッピーディスクドライブからは起動できません。
	パソコンの電源を切り、外部FDDを接続し直してください。
	起動用ディスクが正しくセットされているか確認してください。
	セットアップユーティリティを起動し、次の設定を確認してください。 •「詳細」メニューの[USBポート]が[有効] •「詳細」メニューの[レガシー USB]が[有効] •「起動」メニューで[USB FDD]が[起動順位]の一番上に表示
「バッテリー残量表示補正ユーティリティ」画面が表示されたときは？	バッテリー残量表示補正を実行した後、「Windowsを終了します」という画面で[いいえ]をクリックした可能性があります。[いいえ]をクリックするとWindowsの終了処理が中止され、次回起動時に再びバッテリー残量表示補正が始まります。 ●Windowsを起動するには、電源スイッチをスライドして電源を切り、もう一度電源を入れてください。
Windowsの起動が遅いときは？	セットアップユーティリティの「終了」メニューで、工場出荷時の設定に戻す。 セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ
	お買い上げ後にインストールした常駐アプリケーションソフトがある場合は、そのアプリケーションソフトの常駐を解除してください。
	メモリー容量を増やしてください。
	ディスクデフラグツールを実行してください。
	Windows ReadyBoostを使ってください。 ご利用の外付けメディアがWindows ReadyBoostに対応しているかどうかは、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。
	なお、Windowsの動作は使用するアプリケーションソフトに依存することもあり、すべての動作が改善されるわけではありません。あらかじめご了承ください。
スリープ状態/休止状態からリジューム（復帰）しないときは？	次のような場合は、電源スイッチをスライドして電源を入れてください。なお、保存していないデータは失われます。 •スリープ状態のとき、ACアダプターおよびバッテリーパックを取り外した。 •周辺機器の取り付け/取り外しを行った。 •電源スイッチを4秒以上スライドし強制終了した。
	バッテリーの残量が少ない、または完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し、リジュームしてください。 LAN Wake Up 機能を有効に設定している場合のバッテリー残量保持期間については、「電源を入れる/切る」（➜31ページ）をご覧ください。

起動/終了/スリープ状態/休止状態のQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="3">電源が切れない（Windowsが終了しない）ときは？</td><td>周辺機器を接続している場合は、取り外してからWindowsを終了してください。
周辺機器を取り外すと終了できた場合は、周辺機器のメーカーにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>アプリケーションソフトをインストールした後で電源が切れなくなった場合は、(スタート)-[コントロールパネル]-[プログラムのアンインストール]をクリックし、ご購入後にインストールしたアプリケーションソフトを削除してください。
削除すると終了できた場合は、アプリケーションソフトのメーカーにお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>次の手順で、ディスクのエラーチェックを行ってください。
①外部ディスプレイを含むすべての周辺機器を取り外す。
②(スタート)-[コンピュータ]をクリックし、[ローカルディスク(C:)]を右クリックして、[プロパティ]をクリックする。
③[ツール]をクリックして、[チェックする]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[OK]をクリックします。
④[チェックディスクのオプション]で[ファイルシステムエラーを自動的に修復する]と[不良セクタをスキャンし、回復する]にチェックマークを付け、[開始]をクリックする。
⑤「次回コンピュータ起動時にハードディスクのエラーを検査しますか？」というメッセージが表示された場合は、[ディスク検査のスケジュール]をクリックする。
⑥Windowsを再起動する。

チェックディスクにかかる時間は、ドライブの容量やファイルの内容、[チェックディスクのオプション]の設定により異なります。
チェックディスクを行っても解決できない場合は、再インストールを行い、ハードディスクをお買い上げ時の状態に戻してください。（➡60ページ）</td></tr>
</table>

パスワード/メッセージのQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="2">パスワードを入力しても再度入力を求められるときは？</td><td>1ランプが点灯している場合は、NumLkを押してテンキーモードを解除してから入力してください。</td></tr>
<tr><td>Aランプが点灯している場合は、Shiftを押しながらCaps Lockを押してキャップスロックを解除してから入力してください。</td></tr>
<tr><td>「パスワードを入力してください」が表示されたときは？</td><td>スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワードを入力してください。スーパーバイザーパスワードを忘れてしまった場合は有償での修理が必要となります。ご相談窓口にご相談ください。
パスワードを入力してください [　]</td></tr>
<tr><td>パスワードの入力画面が表示されないときは？</td><td>スリープ状態 / 休止状態からリジュームしたときはセットアップユーティリティで設定したパスワード入力は要求されません。
スリープ状態/休止状態からのリジューム時にパスワードの入力画面を表示させるには、次の手順で設定してください（工場出荷時は、Windows パスワードが設定されていれば表示される設定になっています）。
①(スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。
すでにWindows パスワードが作成されている場合は、手順⑦に進んでください。
②[ユーザーアカウント]をクリックする。
③[Windows パスワードの変更]をクリックする。
④[アカウントのパスワードの作成]をクリックする。
⑤パスワードを設定し、[パスワードの作成]をクリックする。
⑥(スタート)-[コントロールパネル]をクリックする。
⑦[バッテリ設定の変更]をクリックする。
⑧[スリープ解除時のパスワード保護]をクリックする。
⑨[現在利用可能ではない設定を変更します]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力して[OK]をクリックします。
⑩[パスワードを必要とする]をクリックし、[変更の保存]をクリックする。</td></tr>
</table>

パスワード/メッセージのQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td rowspan="2">管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを忘れたときは？</td><td>他の管理者のユーザーアカウントでログオンし、次の手順を行ってください。
①(スタート)-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリックする。
「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
②パスワードを忘れてしまった管理者のユーザーアカウントをクリックする。
③[パスワードの削除]をクリックする。
④[パスワードの削除]をクリックする。
パスワードが削除されます。
他に管理者のユーザーアカウントを作成していない場合は、再インストールして、ハードディスクを工場出荷時の状態に戻す必要があります。ただし、再インストールをすると、作成したデータやインストールしたアプリケーションソフト、メールの履歴などはすべて消去されます。</td></tr>
<tr><td>パスワードリセットディスクを作成していた場合、パスワード入力失敗後に表示される [パスワードのリセット] をクリックし、表示されるメッセージに従って、パスワードを再設定することができます。
パスワードリセットディスクで解除できるのは、各ユーザーアカウントの Windows パスワードのみです。セットアップユーティリティのパスワードを解除することはできません。セットアップユーティリティのパスワードは忘れないように注意してください。
パスワードリセットディスクを作成するには、次の手順をご覧ください。
①(スタート)-[コントロールパネル]-[ユーザーアカウント]をクリックする。
②[Windows パスワードの変更]をクリックする。
③[パスワードリセットディスクの作成]をクリックする。
以降、画面の指示に従ってパスワードリセットディスクを作成し、大切に保管してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">Windows が起動せず、数字またはメッセージが表示されたときは？</td><td>システムの起動エラーです。「エラーコードが表示されたら」（➜ 82 ページ）の内容に従って操作してください。</td></tr>
<tr><td>「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示された場合は、68 ページをご覧ください。</td></tr>
</table>

バッテリーのQ&A

<table>
<tr><th>質　問</th><th>対　策</th></tr>
<tr><td>カタログの記載よりもバッテリーの駆動時間が短いときは？</td><td>カタログや本書の「仕様」（➜83ページ）などに記載されているバッテリーの駆動時間は、「JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」に基づき測定された数値です。
バッテリーの駆動時間は、エコノミーモード（ECO）の有効/無効や、使用環境によって異なります（例えば、画面を明るくして使っているときなどは短くなります）。➜40ページ</td></tr>
<tr><td>バッテリー状態表示ランプ▯が赤色に点灯しているときは？</td><td>バッテリーの残量が少なくなっています（残量約9%以下）。
ACアダプターを接続してバッテリー状態表示ランプがオレンジ色に変わったら、そのままお使いください。ACアダプターがない場合は、すぐにデータを保存し、Windowsを終了してください。その後、十分に充電されたバッテリーパックに交換してから電源を入れてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">バッテリー状態表示ランプ▯が点滅しているときは？</td><td>赤色に点滅している場合は、すぐにデータを保存し電源を切った後、バッテリーパックとACアダプターを本体から取り外し、取り付け直してください。
それでも赤色に点滅する場合は、バッテリーパックまたは充電回路の故障が考えられます。ご相談窓口にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>オレンジ色に点滅している場合は、次のどちらかの状態が考えられます。
●バッテリーパック内部の温度が充電可能な範囲外のため、一時的に充電できない状態です。温度が充電可能な範囲内になると自動的に充電が始まります。そのままお使いください。
●アプリケーションソフトや周辺機器（USB機器など）が多くの電力を消費し電力不足になっているため、充電できない状態です。起動しているアプリケーションソフトが終了し、電力不足が解消されれば自動的に充電が始まります。</td></tr>
<tr><td>バッテリー状態表示ランプ▯が明滅しているときは？</td><td>バッテリーの充電中です。
セットアップユーティリティの「メイン」メニューで[充電中バッテリー状態表示]を[明滅]に設定すると、点灯状態が明るくなったり少し暗くなったり（明滅）します。</td></tr>
</table>

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] が [有効] に設定されているか確認してください。
	キーボードを操作し、次の手順で外部マウスのドライバーを削除してください。インストールされていると、ホイールパッドが使えないことがあります。 ① 管理者のユーザーアカウントでログオンする。 ② ⊞ を押しながら R を押す。 ③「devmgmt.msc」と入力して Enter を押す。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、← を押して[続行]を選択し、Enter を押す。 ④ Tab を押し、↓ を数回押して[マウスとそのほかのポインティングデバイス]を選び、→ を押す。 ⑤ [Synaptics PS/2...]以外の名前が表示されている場合、外部マウスがインストールされているので、↓ で外部マウスのドライバーを選び、Del、Enter の順に押し削除する。 ⑥ 再起動確認の画面で[はい]を選び、Enter を押す。 再起動確認の画面が表示されない場合は、⊞ を押し、→ を３回押した後、↑ で[再起動]を選んで Enter を押してください。 キーボードで操作できない場合は、電源スイッチを4秒以上スライドして電源を切った後、電源を入れてください。 ⑦ ⊞ を押しながら R を押す。 ⑧「c:¥util¥drivers¥mouse¥setup.exe」と入力して Enter を押す。 「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、← を押して[続行]を選択し、Enter を押す。 以降、画面の指示に従ってインストールしてください。
	USB マウスヘルパーをインストールしている場合、USB マウス接続時はホイールパッドでポインターは操作できません。ホイールパッドをお使いになる場合は、USB マウスを取り外してください。また、マウス接続用の PS/2 ポートを内蔵した USB キーボードを接続した場合、USB キーボードにマウスを接続していなくても、ホイールパッドは無効になります。 USB マウスヘルパーをインストールした状態で、（スタート）-[コントロールパネル]-[マウス]-[デバイス設定] の設定を変更すると、USB マウスヘルパーをアンインストールした後、ホイールパッドが使えなくなる場合があります。その場合は、次の手順で設定を変更してください。 ①USB マウスを接続する。 ②（スタート）-[コントロールパネル] をクリックする。 ③[マウス] をクリックする。 ④[デバイス設定] をクリックする。 ⑤[有効] をクリックする。 ⑥[OK] をクリックする。

質　問	対　策
ポインターが勝手に動くときは？	外部マウスのドライバーがインストールされていないことを確認してください（「ホイールパッド使用時ポインターが動かないときは？」の 2 つ目の項目の手順①～⑥をご覧ください ➜ 74 ページ）。
	「ホイールパッドを使う」(➜ 32 ページ) をご覧になり、ホイールパッドに触れたときの感度を調節してください。
マウス接続時ポインターが動かないときは？	マウスが正しく接続されているか確認してください。
	接続したマウスのドライバーをインストールしてください。 外部マウスのドライバーをインストールすると、ホイールパッドが使えないことがあります。 詳しくは、『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「外部マウスを使う」をご覧ください。
	セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] に設定してください。
	不具合などが修正された最新のドライバーがマウスのメーカーから配布されている場合があります。 詳しくは、お使いのマウスのメーカーにお問い合わせください。
マウス接続時ホイールパッドを無効にするには？	「ホイールパッドの有効 / 無効を切り替える」（➜ 33 ページ）をご覧になり、USB マウスヘルパーをセットアップしてください。USB マウスヘルパーをセットアップしない場合は、セットアップユーティリティの「メイン」メニューで [フラットパッド] を [無効] にしてください。
明るさが変わった（暗くなった/明るくなった）ときは？	Fnキーを使うことで、明るさを変更できます。 Fn+F1：画面が暗くなります。 Fn+F2：画面が明るくなります。 ➜29ページ
緑、赤、青のドットが残ったり、正しい色が表示されなかったりするときは？	**これは、故障ではありません。** カラー液晶ディスプレイは精度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯（緑、赤、青色）するものがあります。有効画素が99.998%以上、画素欠けなどが0.002%以下の場合は、故障ではありません。あらかじめご了承ください。
画面が乱れるときは？	解像度/色数を変更したり、本機の動作中に外部ディスプレイの取り付け/取り外しを行ったりすると、画面が乱れることがあります。本機を再起動してください。
	内部LCDのリフレッシュレートが40ヘルツになっている可能性があります。次の方法でリフレッシュレートを変更してください。 ① デスクトップで右クリックし、[グラフィック プロパティ] をクリックする。 ② [ディスプレイデバイス]をクリックし、[Intel(R)デュアル・ディスプレイ・クローン]をクリックする。 [Intel(R)デュアル・ディスプレイ・クローン]が表示されていない場合は、外部ディスプレイを接続してください。 ③ [ディスプレイ設定]をクリックする。 ④ [ノートブック]をクリックし、[リフレッシュレート]が[40ヘルツ]になっている場合は、[60ヘルツ]に変更し、[OK]をクリックする。

ポインターと画面表示のQ&A

質　問	対　策
一瞬真っ黒になるときは？	ログオンやログオフ、ユーザーの簡易切り替えを使用したとき、画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。
	ユーザーアカウント制御を設定している場合、（シールド）が表示されている操作を行うと「ユーザーアカウント制御」画面が表示され、この画面以外の部分が暗くなります。 管理者のユーザーアカウントでログオンしている場合は、[続行]や[許可]などをクリックしてください。 標準ユーザーでログオンしている場合は、管理者のユーザーアカウントのWindows パスワードを入力し、[OK]をクリックしてください。
	省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を有効に設定しているときに、次のような操作を行うと画面が一瞬真っ黒になる場合がありますが、故障ではありません。そのままお使いください。 • Fn+F1/Fn+F2で画面の明るさを調整する。 • ACアダプターを抜き挿しする。 動画再生ソフトやグラフィックのベンチマークソフトなどをお使いで、エラー画面が表示されたりソフトが正しく動作しなくなったりした場合は、省電力設定ユーティリティの[画面表示の省電力機能]を無効に設定してください。 ➜ 『操作マニュアル』「（レッツノート活用）」の「消費電力を節約する」
何も表示されないときは？	電源状態表示ランプが点灯している場合は、ディスプレイの電源が切れています。CtrlやShiftなど動作に影響のないキーを押してください。選択に使うキー（Enter、（スペースキー）、Esc、Y、Nや数字キーなど）は使わないでください。 ディスプレイの電源が切れないようにするには、「スリープ状態に移行するまでの時間を変更/無効にする」（➜42ページ）をご覧になり、[ディスプレイの電源を切る]を[なし]に設定してください。
	画面の表示先が外部ディスプレイに設定されている可能性があります。Fn+F3を押して表示先を切り替えてください。Fn+F3を続けて押す場合は、画面の表示先が完全に切り替わったことを確認してから押してください。
	画面が暗くなっている可能性があります。Fn+F2を押して画面を明るくしてください。（➜29ページ）
	電源状態表示ランプが点滅または消灯している場合は、スリープ状態または休止状態になっています。電源スイッチをスライドしてください。
残像が表示されるときは？	別の画面を表示してください。 同じ画面を長時間表示させていると残像になることがあります。
サイドバーのガジェットなどが正しく表示されない	サイドバーを表示する設定にしていてもガジェットなどが正しく表示されない場合は、Windowsをログオフし、ログオンし直してください。

質　問	対　策
Windows Aeroを解除/使用するには	Windows Aeroを解除するには： ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[個人設定]をクリックする。 ② [ウィンドウの色とデザイン]をクリックする。 ③ 画面下側の[詳細な色のオプションを設定するにはクラシックスタイルの[デザイン]プロパティを開きます]をクリックする。 ④ [配色]の項目から[Windows Vista ベーシック]をクリックして選択し、[OK]をクリックする。 Windows Aeroを使用するには： ① デスクトップの何もないところを右クリックし、[個人設定]をクリックする。 ② [ウィンドウの色とデザイン]をクリックする。 ③ [配色]の項目から[Windows Aero]をクリックして選択し、[OK]をクリックする。

困ったとき

その他のQ&A

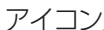
質　問	対　策
マイクの音がスピーカーから聞こえなくなる	次の手順で、「SigmaTelサウンドドライバ省電力機能」の設定を無効にしてください。 ① (スタート)-[すべてのプログラム]-[Panasonic]-[省電力ユーティリティ]をクリックする。 ②「SigmaTelサウンドドライバ省電力機能」の[無効]をクリックする。 ③ 確認画面が表示されたら[OK]をクリックする。 ④ [OK]をクリックする。 ⑤ [Windows]を再起動する。
F8 を押しても[コンピュータの修復]が表示されない	Windows Anytime Upgradeを実行すると、修復プログラムが起動しなくなります。 対処方法については次のWebページをご覧ください。 http://askpc.panasonic.co.jp/index.html

困ったとき

ハードウェアを診断する

本機に搭載されているハードウェアが正しく動作しない場合は、PC-Diagnostic ユーティリティを使って、正常に動作しているかを診断することができます。
ハードウェアに異常が見つかったときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。詳しくは、「保証とアフターサービス」（➜『取扱説明書 準備と設定ガイド』）をご覧ください。

PC-Diagnostic ユーティリティで診断するハードウェア

ソフトウェアは診断できません。

診断するハードウェア	PC-Diagnosticユーティリティのアイコン表示
CPU	CPU/System
メモリー	RAM xxxx MB
ハードディスク	HDD xxx GB
ビデオコントローラー	Video
サウンド*1	Sound
モデム	Modem
LAN	LAN
無線LAN	Wireless LAN
USB	USB
PCカードコントローラー	PC Card
SDカードコントローラー	SD
内部キーボード	Keyboard
ホイールパッド	Touch Pad

*1 診断中、大きなビープ音が鳴りますので、ヘッドホンを装着しないでください。（Windowsでミュートに設定している場合、音は鳴りません。）

●Video診断中に画面が乱れたり、Sound診断中にスピーカーから音が出ることがありますが、これらは異常ではありません。

操作のしかた

ホイールパッドで操作することをお勧めします。ホイールパッドで操作しないときは、代わりに内部キーボードで操作することもできます。

操作	ホイールパッドの操作	内部キーボードの操作
アイコンを選ぶ	ポインターをアイコンの上に合わせる	[ ]（スペースキー）を押してから[→][←][↑][↓]を押す（画面右上の [close] は選べません。）
アイコンをクリックする	タップまたはクリックする（右クリックは使えません。）	アイコン上で[ ]（スペースキー）を押す
PC-Diagnosticユーティリティを終了してパソコンを再起動する	画面右上の[close]をクリックする	[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]を押す

ホイールパッドが正しく動作しない場合は、[Ctrl]+[Alt]+[Del]を押してパソコンを再起動するか、電源スイッチをスライドして電源を切った後に、再度PC-Diagnosticユーティリティを起動してください。

診断する

セットアップユーティリティで「デフォルト設定」にした状態で実行します。セットアップユーティリティなどで使用できないように設定されている場合は、ハードウェアのアイコンがグレー表示になります。

1 周辺機器を取り外す。

2 ACアダプターを接続する。

診断中は、ACアダプターの抜き挿しや周辺機器の取り付け/取り外しを行わないでください。

3 パソコンの電源を入れる。または、Windowsを終了して再起動する。

4 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に F2 を押してセットアップユーティリティを起動する。

- お買い上げ時の状態から設定を変更して使っていた場合は、変更した設定をメモしておくことをお勧めします。
- 以降の手順でパスワードの入力画面が表示された場合は、スーパーバイザーパスワードを入力し、Enter を押してください。

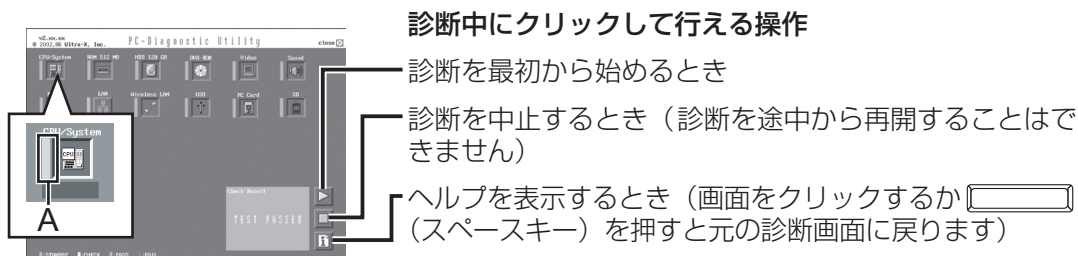
5 F9 を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押してください。

6 F10 を押す。

確認のメッセージが表示されたら、[はい]を選び、Enter を押してください。
セットアップユーティリティが終了し、パソコンが再起動します。

7 パソコンの起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に Ctrl ＋ F7 を押す。

PC-Diagnosticユーティリティが起動し、自動的にすべてのハードウェアの診断が始まります。（画面は英語です。）
アイコンの左側（A）に青色と黄色が交互に表示され始めるまでは、ホイールパッドまたは内部キーボードが使えません。

診断中にクリックして行える操作

- 診断を最初から始めるとき
- 診断を中止するとき（診断を途中から再開することはできません）
- ヘルプを表示するとき（画面をクリックするか [スペースキー]（スペースキー）を押すと元の診断画面に戻ります）

- ハードウェアのアイコンの左側（A）の表示色で診断状況が確認できます。
  - 水色：診断していない状態
  - 青色と黄色が交互に表示：診断中。診断内容によって表示の間隔は異なります。
    RAM診断中は、表示が長時間止まることがありますが、そのままお待ちください。
  - 緑色：正常と診断
  - 赤色：異常と診断

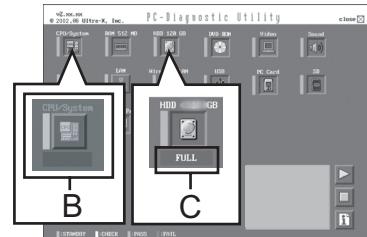
ハードウェアを診断する

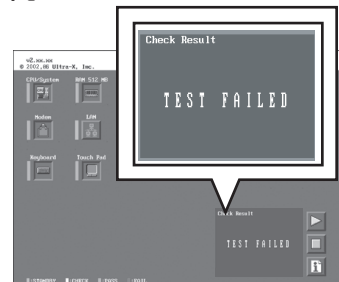
メモ

次の手順で、特定のハードウェアのみを診断したり、ハードディスクの拡張診断を行ったりできます（拡張診断はハードディスクのみ）。拡張診断は、標準診断に比べて詳しい診断を行うため、診断時間が長くなります。

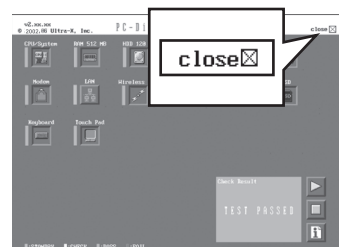
① をクリックして診断を中止する。

②診断しないハードウェアのアイコンをクリックしてグレー表示（B）にする。
ハードディスクの場合は、クリックすると拡張診断（アイコンの下（C）に「FULL」と表示）になり、再度クリックするとグレー表示になります。

③ をクリックして診断を始める。

8 すべてのハードウェアが診断されたら、診断結果を確認する。

赤色になり「Check Result TEST FAILED」が表示されたら、パソコンのハードウェアが故障していると考えられます。赤色で表示されているハードウェアを確認して、ご相談窓口にご相談ください。
緑色になり「Check Result TEST PASSED」が表示されたら、パソコンのハードウェアは正常です。そのままお使いください。それでも正しく動作しない場合は、再インストールしてください。（➜60ページ）

メモ

RAMモジュールを増設した状態でメモリー診断をして「Check Result TEST FAILED」が表示された場合：
増設されたRAMモジュールを取り外して診断を行ってください。それでも「Check Result TEST FAILED」が表示された場合、内蔵のRAMモジュールが故障していると考えられます。

9 診断が終了したら、画面右上の[close]をクリックするか、Ctrl+Alt+Delを押してパソコンを再起動する。

ハードディスクを復元する

Windows Vistaに搭載されている「Windows Complete PCバックアップと復元」および「システム回復オプション」を使うことで、パソコンが動作しなくなったときにハードディスク全体を復元することができます。

ハードディスクをバックアップする

「Windows Complete PCバックアップと復元」機能を使うと、別の記憶メディア（外付けハードディスクなど）に、ハードディスク全体のバックアップを自動または手動で行うことができます。
また「バックアップと復元センター」では、ファイルやフォルダー単位でもバックアップが行えます。

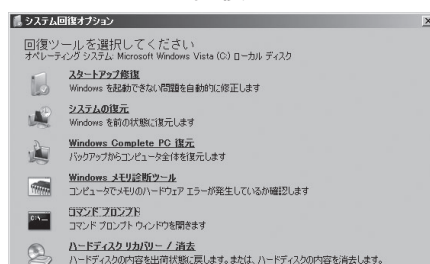
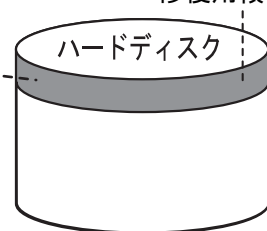
詳しい方法を確認するには、（スタート）-[コントロールパネル]-[バックアップの作成]をクリックしてください。

ハードディスクを復元する

「Windows Complete PCバックアップと復元」を使ってバックアップしたイメージデータを復元するには、ハードディスクの修復用領域に収納された「システム回復オプション」を使います。

重 要

以下の操作は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときや再インストール直後には行えません。Windows Vistaを一度起動/終了させた後は操作可能になります。

システム回復オプション

修復用領域

「システム回復オプション」を使ってハードディスクを復元するには

① 本機の電源を入れ、「Panasonic」起動画面が消えたとき（スーパーバイザーパスワードまたはユーザーパスワード設定時はパスワード入力後）に[F8]を押し続ける。
②「詳細ブートオプション」が表示されたら指を離す。
③ [↑]と[↓]を使って[コンピュータの修復]を選び、[Enter]を押す。
④ キーボードの種類を選び、[次へ]をクリックする。
「システム回復オプション」が表示されます。
⑤「ユーザーアカウント名」と「パスワード」を入力し、[OK]をクリックする。
⑥「Windows Complete PC復元」をクリックし、画面の指示に従う。

● [F8]を押し続けても「システム回復オプション」が表示されない場合は、プロダクトリカバリー DVD-ROMを使って「システム回復オプション」を表示させてください。
詳しくは、「プロダクトリカバリー DVD-ROMを使う」をご覧ください。（➜63ページ）

「システム回復オプション」には、他に次のような機能があります。

スタートアップ修復：Windowsが起動しないとき、その問題を修正します。
システムの復元：Windowsをバックアップしたときの状態に戻します。
Windowsメモリー診断ツール：メモリーにハードウェアエラーが起きていないか調べます。
コマンドプロンプト：コマンドプロンプトのウィンドウを開きます。
ハードディスクリカバリー /消去：再インストールのプログラムを起動します。（➜60ページ）

エラーコードが表示されたら

電源を入れたとき、次のエラーコードやメッセージが表示された場合は、対処の説明に従ってください。
それでも解決できない場合、またはこれら以外のエラーコードやメッセージが表示された場合は、ご相談窓口にご相談ください。

エラーコード一覧

エラーコード/メッセージ	対 処
0211：キーボードエラーです。	●外部キーボードを接続している場合は、取り外してください。
0251：システムCMOSのチェックサムが正しくありません。デフォルト値が設定されました。	セットアップユーティリティの設定内容を保持しているメモリーの内容が正しくありません。これは、プログラムなどの意図しない動作により、内容が変更された場合に起こるエラーです。 ●セットアップユーティリティで、デフォルト設定にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0271：日付と時刻の設定を確認してください。	日付と時刻の設定が正しくありません。 ●セットアップユーティリティの「メイン」メニューで、日付と時刻を正しく設定してください。 ●それでも表示される場合は、データ保持用の内蔵バックアップバッテリーが消耗している可能性があります。ご相談窓口にご相談ください。
0280：起動を3 回失敗しました。－デフォルト値を使用して起動します。	繰り返し起動に失敗したため、セットアップユーティリティをデフォルト設定に変更して起動しました。 ●セットアップユーティリティで、デフォルトの設定（工場出荷時の値）にした後、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
< F2 >キーを押すとセットアップを起動します。	●エラー内容をメモした後、F2を押してセットアップユーティリティを起動してください。設定を確認し、必要に応じて適切な値に設定し直してください。
Operating System not found	起動しようとしたフロッピーディスクやハードディスクにOS が正しくインストールされていません。 ●フロッピーディスクドライブに起動できないフロッピーディスクがセットされている場合は、取り出してください。 ●ハードディスクから起動できない場合は、セットアップユーティリティの「情報」メニューでハードディスクが正しく認識されているか確認してください。 ・認識されている場合（「xx GB」と表示）は、再インストールを行ってください。 ・認識されていない場合（「なし」と表示）は、ご相談窓口にご相談ください。 ● USB ポートに機器を接続している場合は、取り外すか、セットアップユーティリティの「詳細」メニューで [レガシー USB] を [無効] に設定してください。

セットアップユーティリティの起動方法：➜49ページ

仕様 日本国内専用

本製品（付属品を含む）は日本国内仕様であり、海外の規格などには準拠しておりません。

●本体仕様

機種名		CF-T5AW1BJR	CF-T5AW1PJR
CPU/ 2次キャッシュメモリー		インテル® Core™2 Duo プロセッサー 超低電圧★版U7500、オンダイL2キャッシュ -2 MB[*1]、動作周波数1.06 GHz、フロントサイド・バス533 MHz	
チップセット		モバイルインテル® 945GMS Express チップセット	
メインメモリー		標準1 GB[*1] DDR2 SDRAM（拡張メモリースロットに512MB[*1]メモリーを増設済み、空きスロット0）	
ビデオメモリー		最大224 MB[*1]（メインメモリーと共用[*2]）[*3]	
ハードディスクドライブ		80 GB[*4]（Ultra ATA100）	
		上記容量のうち約6 GB[*4] は修復用領域（リカバリー用データ領域を含む）として使用（ユーザー使用不可）	
表示方式		12.1 型TFT カラー液晶XGA（1024 × 768 ドット）	
	内部LCD表示	1024 × 768 ドット：約1677 万色[*5]	
	外部ディスプレイ表示[*6]	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット、1280 × 768 ドット、1280 × 1024 ドット、1400 × 1050ドット、1440 × 900ドット、1600 × 1200ドット、2048 × 1536 ドット（60 Hz）[*7]：約1677 万色	
	本体+外部ディスプレイ同時表示[*6]	800 × 600 ドット、1024 × 768 ドット：約1677 万色[*5]	
無線LAN		インテル® PRO/Wireless 3945ABG ネットワーク・コネクション IEEE802.11a（J52/W52/W53）/b/g準拠 （➔85ページ）	
LAN[*8]		100BASE-TX / 10BASE-T	
モデム[*9]		データ：56 kbps（V.90） FAX：14.4 kbps /ボイス非対応 （➔85ページ）	
サウンド機能		PCM 音源（16 ビットステレオ）、インテル® High Definition Audio準拠、モノラルスピーカー	
セキュリティチップ		TPM（TCG V1.2 準拠）[*10]	
カードスロット		PC カードスロット（TYPE Ⅱ）× 1 スロット（CardBus 対応､許容電流3.3 V：400 mA、5 V：400 mA） SD メモリーカードスロット[*11] × 1 スロット（SDHCメモリーカード対応/著作権保護技術対応）	
拡張メモリースロット[*12]		DDR2 172 ピンマイクロDIMM × 1 スロット（1.8 V / PC2-4200 / DDR2 SDRAM）、512 MB[*1]メモリー増設済み	
インターフェース		USB ポート× 2（USB2.0 × 2）[*13]、モデムコネクター（RJ-11）[*9]、LAN コネクター（RJ-45）[*8]、外部ディスプレイコネクター（アナログRGB ミニDsub 15 ピン）、マイク入力端子（ステレオミニジャックM3（プラグインパワー対応））[*14]、オーディオ出力端子（ステレオミニジャックM3）	
キーボード/ ポインティングデバイス		OADG 準拠キーボード（85 キー）､キーピッチ：19 mm（横）/ 16 mm（縦）（一部キーを除く）/ホイールパッド	
電源		AC アダプターまたはバッテリーパック	
AC アダプター[*15]		入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz / 60 Hz、出力：DC 16 V、2.8 A、電源コードは100 V 専用	
バッテリーパック		11.1 V（Li-ion）、7.65 Ah	
	バッテリー駆動時間[*16]	• 付属のバッテリーパック（品番：CF-VZSU37U）を取り付けた場合：約13時間（エコノミーモード(ECO)無効時） • 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合：約5.5時間（エコノミーモード(ECO)無効時）	
	バッテリー充電時間[*17]	• 付属のバッテリーパック（品番：CF-VZSU37U）を取り付けた場合：約5時間（電源オフ時）/約7時間（電源オン時） • 別売りの軽量バッテリーパック（品番：CF-VZSU39U）を取り付けた場合：約4時間（電源オフ時/オン時）	

仕様一覧

仕様

消費電力/ エネルギー消費効率[*18]	最大約40 W[*19] / 2007年度基準　I区分0.00027 （社）電子情報技術産業協会 情報処理機器 高調波電流抑制対策実行計画書に基づく定格入力電力値：24 W
外形寸法	幅268 mm ×奥行き210.4 mm ×高さ24.9 mm / 44.3 mm（前部/後部）突起部除く
質量[*20]	約1270 g
使用環境条件	温度：5 ℃～ 35 ℃ 湿度：30 %RH ～ 80 %RH（結露なきこと）
OS[*21]	Windows Vista™ Business正規版
導入済みソフトウェア[*21]	Microsoft® Internet Explorer 7.0/Adobe Reader/DMIビューアー /Microsoft® Windows® Media Player 11/DirectX 10/Microsoft® Windows® Movie Maker 6.0/Microsoft® .NET Framework 3.0/ネットセレクター 2/ホイールパッドユーティリティ /省電力設定ユーティリティ /hi-hoオンラインサインアップ/ズームビューアー /NumLockお知らせ/無線切り替えユーティリティ/セキュリティ設定ユーティリティ /Hotkey設定/エコノミーモード（ECO）切り替えユーティリティ /バッテリー残量表示補正ユーティリティ/PC情報ビューアー /マカフィー・インターネットセキュリティスイートベーシックエディション[*22]/gooスティック/Infineon TPM Professional Package V3.0 SP1[*23]
	セットアップユーティリティ /ハードディスクデータ消去ユーティリティ [*24] /PC-Diagnosticユーティリティ [*25]
	下記のソフトウェアをお使いになる場合は、セットアップが必要です。次の手順を行った後、画面の指示に従ってください。 ● Wireless Manager mobile edition 3.0[*26]：デスクトップの「Wireless Manager mobile editionのセットアップ」アイコンをダブルクリックします。

★　既存のインテル低電圧版に比べて、さらに電圧レベルを低下。

*1　1 MB=1,048,576 バイト。1 GB=1,073,741,824 バイト。
*2　本機の動作状況により、メインメモリーの一部が自動的に割り当てられます。サイズを設定しておくことはできません。
*3　ビデオメモリーは、拡張メモリースロットの増設メモリーにより変わります。増設メモリーを取り外した場合などの値は、（スタート）-[コントロールパネル]-[画面の解像度の調整]-[詳細設定]をクリックし、「利用可能な全グラフィックス メモリ」でご確認ください。
*4　1 GB=1,000,000,000 バイト。OSまたは一部のアプリケーションソフトでは、これよりも小さな数値でGB表示される場合があります。ハードディスクのユーティリティなど使用時はNTFS対応のものをご使用ください。
*5　グラフィックアクセラレーターのディザリング機能を使用して約1677万色表示を実現しています。
*6　接続する外部ディスプレイによっては表示できない場合があります。解像度、リフレッシュレートについては、パナソニックパソコンのサポートページ（http://askpc.panasonic.co.jp/index.html）の「よくある質問（FAQ）」をご覧ください。
*7　2048×1536ドットの解像度で外部ディスプレイに表示する場合は、60 Hzのリフレッシュレートをサポートしているディスプレイをお使いください。2048×1536ドットの解像度で、60 Hzのリフレッシュレートをサポートしていない外部ディスプレイを接続すると、正しく表示されない場合があります。
*8　コネクターの形状によっては使用できないものがあります。
*9　モデムは一般電話回線専用です。56 kbpsはデータ受信時の理論値です。データ送信時は33.6 kbpsが最大速度です。
*10 お使いになるにはInfineon TPM Professional Packageをインストールする必要があります。
（➜ 『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
*11 容量4GBまでのPanasonic製SDメモリーカードおよびSDHCメモリーカードの動作を確認済み。すべてのSD機器との動作を保証するものではありません。
*12 RAMモジュールを交換する際は、DDR2対応であることを確認してください。
JEDEC規格の214ピンマイクロDIMMは使用できません。PC2100、PC2700の172ピンマイクロDIMMは使用できません。PC2-3200のRAMモジュールを取り付けると、本体メモリーの処理速度が遅くなります。
*13 USB対応のすべての周辺機器の動作を保証するものではありません。
*14 コンデンサー型ステレオマイクロホンをお使いください。
*15 本製品は一般家庭用の電源コードを使用するため、AC100 Vのコンセントに接続して使用してください。（➜ 14ページ）
*16「JEITAバッテリ動作時間測定法（Ver.1.0）」による駆動時間。セットアップユーティリティの[メモリー /ビデオ省電力]を[バッテリー優先]に設定時の測定値。バッテリー駆動時間は動作環境・液晶の輝度・システム設定により変動します。エコノミーモード（ECO）有効に設定しているときの駆動時間は、無効時の約8割になります。（➜41ページ）
*17 バッテリー充電時間は動作環境・システム設定により変動します。完全放電したバッテリーを充電すると時間がかかる場合があります。

*18 エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。
*19 電源が切れていてバッテリーが満充電や充電していないときは約1.5 W。
*20 平均値。各製品で質量が異なる場合があります。
*21 本機はインストール済みOS以外では動作保証しておりません。
*22 マカフィー・ウイルススキャンのみが搭載されています。その他の機能はインターネットからダウンロードしてご利用いただけます。
ご利用前にユーザー登録が必要です。ユーザー登録をすると、DAT（ウイルス定義ファイル）のアップデートサービスやその他ユーザーサポートがご利用いただけます。期間終了後、引き続きご利用になる場合は、表示されたメッセージに従って、有償契約をお申し込みください。
*23 お使いになるにはインストールが必要です（➜『操作マニュアル』「（セキュリティ）」の「データを暗号化する」）。
*24 修復用領域（WinRE）から実行するユーティリティ（実行できない場合は、プロダクトリカバリーDVD-ROMから実行してください）。
*25 起動方法は「ハードウェアを診断する」（➜78ページ）をご覧ください。この機能には（株）ウルトラエックスの技術を使用しています。
*26 ワイヤレス投写用アプリケーションソフト（パナソニック液晶プロジェクター TH-LB10NT/TH-LB20NT/TH-LB30NT/TH-LB50NT/TH-LB55NT/TH-LB60NTとワイヤレス接続するときに使います）。詳しくは『操作マニュアル』「（周辺機器）」の「プロジェクターを使う」をご覧ください。

●無線LAN

データ転送速度	IEEE802.11a：54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps（自動切替）*27 IEEE802.11b：11 Mbps/5.5 Mbps/2 Mbps/1 Mbps（自動切替）*27 IEEE802.11g：54 Mbps/48 Mbps/36 Mbps/24 Mbps/18 Mbps/12 Mbps/9 Mbps/6 Mbps（自動切替）*27
準拠規格	ARIB STD-T66/ARIB STD-T71 IEEE802.11a（J52/W52/W53）/IEEE802.11b/IEEE802.11g（無線LAN標準プロトコル）
伝送方式	OFDM 方式、DS SS 方式
有効距離*28	IEEE802.11a：見通し約30 m 、IEEE802.11b/g：見通し約50 m（アクセスポイントとの通信時）
使用無線チャンネル	インフラストラクチャ通信モード： IEEE802.11a：34/38/42/46チャンネル（J52）、36/40/44/48チャンネル（W52）、52/56/60/64チャンネル（W53） IEEE802.11b/g：1 ～ 13 チャンネル ad hoc通信モード： IEEE802.11a：36/40/44/48チャンネル IEEE802.11b/g：1 ～ 13 チャンネル
RF周波数帯域	2.4 GHz帯域（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz）、 5 GHz帯域（5.15 GHz ～ 5.35 GHz）*29

*27 IEEE802.11a/b/g 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*28 有効距離は、電波環境、障害物、設置環境などの周囲条件や、アプリケーションソフト、OS などの使用条件によって異なります。
*29 IEEE802.11a準拠の無線LANは、無線通信に5 GHz帯を使用しています。5 GHz帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外および日本国外では使用できません。

IEEE802.11b/g
IEEE802.11a
J52 W52 W53

●本機のモデムは次の国または地域の規格に準拠しています。

アイスランド、アイルランド、アメリカ、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、アンドラ、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、ウクライナ、ウルグアイ、エクアドル、エストニア、エジプト、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、韓国、キプロス、ギリシャ、クウェート、クロアチア、サウジアラビア、サンマリノ、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、台湾、チェコ、チリ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、バチカン市国、パラグアイ、ハンガリー、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ブルネイ、ペルー、ベルギー、ベネズエラ、ポーランド、ポルトガル、ホンジュラス、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ共和国、メキシコ、モナコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、リヒテンシュタイン、ルーマニア、ルクセンブルク、ロシア

（2007年4月1日現在）

ソフトウェア使用許諾書

本機の包装袋のシールをはがす前に、必ず内容を確認してください。

第１条	権　　利	お客さまは、本ソフトウェア（パソコン本体に内蔵のハードディスク、付属のマニュアルや CD-ROM/DVD-ROM などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、特許権、著作権またはその他一切の権利は弊社が所有するものであり、お客さまに移転するものではありません。
第２条	第三者の使用	お客さまは、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。
第３条	コピーの制限	本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）を目的とした1回に限定されます。
第４条	使用パソコン	本ソフトウェアは、本パソコン1台での使用とし、他のパソコンで使用することはできません。
第５条	解析、変更または改造	本ソフトウェアの解析、変更または改造などを行わないでください。お客さまの解析、変更または改造により、万一何らかの欠陥またはお客さまに対する損害が生じたとしても弊社および販売店などは一切の保証・責任を負いません。
第６条	アフターサービス	お客さまが使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社窓口まで電話または文書でお問い合わせくだされば、お問い合わせの不具合に関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。
第７条	免　　責	本ソフトウェアに関する弊社および販売店などの責任は、上記第６条に限ります。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客さまの損害および第三者からのお客さまに対する請求については、弊社および販売店などに故意または重過失がない限り、弊社および販売店などはその責任を負いません。
第８条	合意管轄	本ソフトウェアの使用に関して、訴訟の必要が生じた場合、お客さまおよび弊社は弊社の本社所在地を管轄する裁判所に対してのみ訴えを提起することができるものとします。
第９条	準 拠 法	本ソフトウェアの使用はあらゆる面において日本国の法律に支配され、かつそれに従って解釈されるものとします。
第 10 条	輸出管理	お客さまが本ソフトウェアを日本国外に持ち出される場合、国内外の輸出管理に関連する法規を順守してください。

フィルタリングについて

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットを利用すると世界中の情報にアクセスすることができますが、中には違法な情報や有害な情報も存在します。次のような情報は、青少年の健全な発育を妨げるだけでなく、青少年による犯罪や財産権侵害、人権侵害などの問題を助長していると見られています。

- アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- 出会い系サイト
- 暴力残虐画像を集めたサイト
- 他人の悪口やひぼう中傷を載せたサイト
- 犯罪を助長するようなサイト
- 毒物や麻薬情報を載せたサイト

情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるため、上述のようなサイトも公開をやめさせることはできません。また、日本では非合法でも、そのWebサイトを発信している国では合法なものもあります。

有害なインターネット上の情報の受信を自動的に制限する技術が、「フィルタリング」です。これは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、有害な情報の受信を制限できる有効な手段です。特に青少年がインターネットを利用する家庭では、パソコンにフィルタリング機能を持つソフトウェアを購入しインストールするか、インターネット事業者のフィルタリング・サービスの利用をお勧めします。

「フィルタリング」は、ソフトウェアあるいはサービス事業者によって、「有害サイトブロック」「Webフィルタ」「インターネット利用管理」などと表現される場合もあり、機能や利用条件が異なります。ソフトウェア提供会社あるいは、お客さまが契約されているインターネット事業者に、事前に確認されることをお勧めします。

フィルタリングに関しては、社団法人　電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」からも入手できます。

http://it.jeita.or.jp/perinfo/report/pcsupport/index.html

（2007年4月1日現在）

このパソコンにトラブルがあったときは

本機が起動しない、動かないなどのトラブルが発生した場合、わからないことがあった場合などは、次の順番で確認してください。

1 マニュアルで調べる

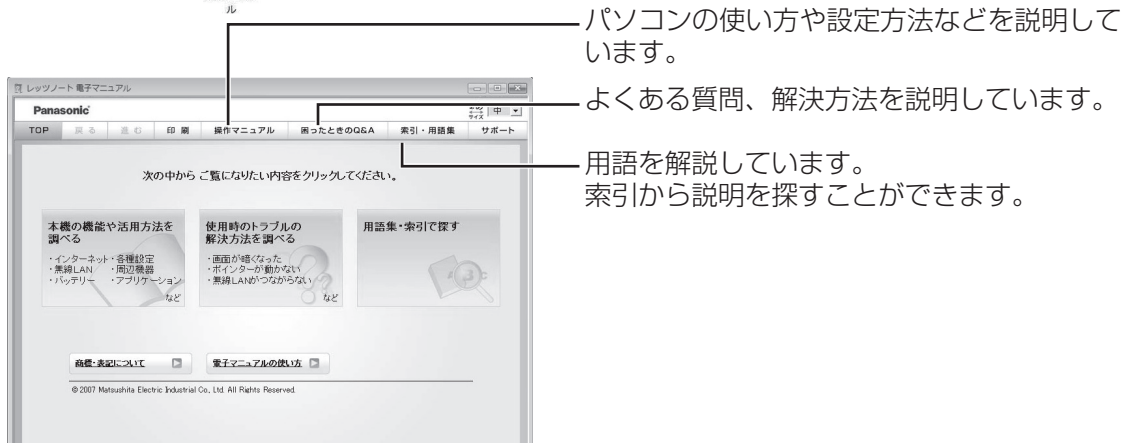
●Windowsが起動するとき

『操作マニュアル』や『困ったときの Q&A』などで調べてください。

デスクトップの（操作マニュアル）をダブルクリック

パソコンの使い方や設定方法などを説明しています。

よくある質問、解決方法を説明しています。

用語を解説しています。
索引から説明を探すことができます。

●本機が起動しないとき/電源は入るがWindowsが正常に起動しないとき

本書の「困ったとき」で調べてください。➜ 67 ページ、68 ページ

再インストールしてください。➜60ページ

2 Web で調べる

●よくある質問（FAQ）の確認/OS、BIOS、アプリケーションソフト関連などのアップデートプログラムをダウンロード

弊社の Web で調べる http://askpc.panasonic.co.jp

（Webページのデザインは改善などのため予告なく変更する場合があります。）

●セキュリティ情報

弊社の Web ページで調べる http://askpc.panasonic.co.jp/security/index.html

●Windows関連

Microsoft の Web ページで調べる http://www.microsoft.com/japan/windowsvista/

3 ハードウェアを診断する（PC-Diagnostic ユーティリティで調べる）

パソコンを起動後すぐ、「Panasonic」起動画面が表示されている間に[Ctrl]+[F7]を押して PC-Diagnostic ユーティリティを起動する。

診断時のお願いや操作方法について詳しくは、「ハードウェアを診断する」（➜ 78 ページ）をご覧ください。

4 アプリケーションソフトや周辺機器の製造元に問い合わせる

●付属のアプリケーションに関するお問い合わせ
　本書の「アプリケーションソフトの問い合わせ先」➜ 92 ページ
●周辺機器に関するお問い合わせ
　周辺機器の製造元にお問い合わせください。

5 再インストールする / ハードディスクを復元する

本書の「再インストールする」➜ 60 ページ
ハードディスクのバックアップを行っている場合は「ハードディスクを復元する」もご覧ください。➜ 81 ページ

6 お問い合わせ / 保証とアフターサービス

●お問い合わせは、次の内容ではありませんか？

電源 ON	電源が入らない	お買い上げ後、RAM モジュールを増設した場合は、RAM モジュールを取り外して再度電源を入れてください。
	バッテリーがもたない（駆動時間が短い）	使用環境を確認してください。（➜ 40 ページ）
	画面に黒い点や、色が付いている点がある	故障ではありません。あらかじめご了承ください。（➜ 75 ページ）
Word Excel	Word や Excel が入っていない	Microsoft® Office Word や Microsoft® Office Excel を使うには、Microsoft® Office Personal 2007 などが必要です。
暗い	AC アダプターを抜くと画面が暗くなった	[Fn] + [F2] を押してください。明るくなります。（➜ 29 ページ）

●本機に関するお問い合わせ
次のご相談窓口にお問い合わせください。

商品についてのお問い合わせは

パナソニックパソコンお客様ご相談センター

電　話　フリーダイヤル　0120-873029（パナソニック）

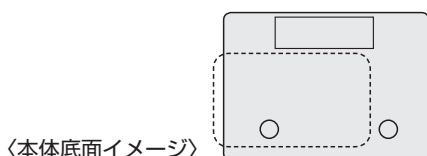
ＦＡＸ　(06)6905-5079

365日／受付9時～20時

（パソコン製品の使い方や技術的なご質問も承っております。）

（2007年4月1日現在）

お問い合わせの際は、下記の機種品番（Panasonicロゴマークの下に記載）をお伝えください。

〈本体底面イメージ〉

●修理に関するお問い合わせ

1 修理依頼書に記入する。（➜93ページ）

2 付属の『取扱説明書 準備と設定ガイド』で修理に関する詳しい情報を確認し、本体底面に貼られている修理窓口へ連絡する。

アプリケーションソフトの問い合わせ先

本機に付属のアプリケーションソフトが正しく動作しない場合、まず、『操作マニュアル』「(アプリケーションソフト)」や各アプリケーションソフトのヘルプを十分にご確認ください。
インターネットに接続できる場合は、各アプリケーションソフトのメーカーのホームページにある、よくある質問などのサポート情報もご覧ください。ここにも問題解決方法やヒントが記載されていない場合は、お使いのパソコンの状況をご確認のうえ、下記へお問い合わせください。
(2007年4月1日現在)

●**マカフィー®・ウイルススキャン**(デスクトップにが表示されている機種をお使いの場合のみセットアップすることができます)

マカフィー・インフォメーションセンター

対応内容	製品購入前の製品に関するお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info.asp
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/pre_info.asp
電話	0570-010-220(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
受付時間	9:00 ~ 17:00(土・日・祝祭日を除く)

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター

対応内容	登録方法に関するご相談やお客さま登録情報の変更など
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp
電話	0570-030-088(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
受付時間	9:00 ~ 17:00(土・日・祝祭日を除く)

マカフィー・テクニカルサポートセンター

対応内容	ソフトウェアの操作方法や不具合などの技術的なお問い合わせ
サポートページ	マカフィー・サポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/
	マカフィー・チャットサポート http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp
	E-mailによるお問い合わせフォーム http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/pre_ts.asp
電話	0570-060-033(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)
受付時間	9:00 ~ 21:00(年中無休)

●**goo スティック** goo事務局

受付時間	月~金曜日 10:00 ~ 20:00(年末年始、祝祭日を除く)		
電話	045-848-4190(FAXによるお問い合わせは受け付けておりません)		
E-mail	info@goo.ne.jp	Web	http://stick.goo.ne.jp/

その他の導入済みソフトウェアについてはパナソニックパソコンお客様ご相談センターへお問い合わせください。(➜ 91ページ)

修理依頼表

（この用紙をコピーしてご依頼内容をご記入のうえ、保証書とともに、修理されるパソコンに添付していただきますようお願いいたします。）

日ごろはパナソニックパソコンをご愛顧いただき、まことにありがとうございます。
修理のためにお客さまの商品をお預かりさせていただくにあたり、次の内容についてご承諾のうえ、必要事項のご記入をお願いいたします。

「パナソニックパソコンの修理をご要望されるお客さまへのお願い」

1. データをバックアップのうえ消去してください ※障害により操作できない場合は、そのままお預かりします。

お客さまよりお預かりいたしますパソコンの取り扱いには細心の注意をしておりますが、ハードディスク内にデータが残っていた場合、運送途中、もしくは弊社での修理のためにハードディスク内のデータが消えることがあります。また、状況によっては、パソコン運送中におけるハードディスク内のデータ紛失・漏えいなどが生じることも考えられます。このような場合、弊社は一切の責任を負うことはできませんので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。
したがいまして、常日ごろから定期的にハードディスク内のデータのバックアップをお取りいただきますとともに、修理に出される前には万一に備え、お客さまご自身にて必要なデータのバックアップをお取りいただいたうえで消去することをお願いいたします。
内蔵セキュリティチップ（TPM）をお使いの場合は、『内蔵セキュリティチップ（TPM）ご利用の手引き』をご覧ください。

2. ハードディスクの初期化についてご確認ください

お預かりいたしますパソコンの故障状況によりましては、修理のためハードディスクを初期化することが必要になる場合があります。この初期化について、次のとおり、お客さまのご同意の確認をさせていただきますので、ご記入いただきますようご協力をお願いいたします。
なお、初期化により、ハードディスク内に記録されているお客さまのすべてのデータおよびソフトウェアが消去されますことをご了承ください。

3. パスワードを解除しておいてください

症状を確認することができるように、起動時のパスワードとハードディスク保護を無効にしておいてください。

ご依頼日:20　　年　　月　　日

フリガナ お名前		電話番号　（　　　）　　　－
		FAX番号　（　　　）　　　－
ご住所	〒	
商品品番	（製造番号:　　　　）	お買い求め年月日　　　年　　　月　　　日
お買い求めの販売店名		電話番号　（　　　）　　　－

●故障内容を教えてください : 以下に✓を入れてください
□起動しない　□画面が表示されない　□エラー画面が表示される　□その他

●具体的な故障内容をご記入ください
①どのような症状ですか（できるだけ詳しくご記入ください）

②その症状はどんな操作をしたときに起こりますか

③症状の発生頻度を教えてください : 以下に✓を入れてください
□常時　□日に数回　□週に数回　□不定期に　□過去に発生した

●ハードディスク内のデータのバックアップおよびそのデータの消去はお済みですか : 以下に✓を入れてください
□実施した　□実施していない（上記のお願い事項 1. をご確認ください）

●ハードディスクの初期化について : 以下に✓を入れてください
□同意する　□同意しない（修理することができず、そのままご返却させていただく場合があります）

●有償修理のお客さまへ (無料修理のお客さまは記入不要です)
修理限度額 : 以下に✓を入れてください
□なし　□ 3 万円（税込み）以下　□ 5 万円（税込み）以下　□ 8 万円（税込み）以下　□____万円（税込み）以下

ハードディスク内のデータについて
【パソコンの障害やお客さまにてハードディスク内のデータ消去ができない場合に適応】
パソコンの修理を行う際、症状確認・解析などでハードディスク内のデータファイルを必要最低限の範囲で開くことや、ハードディスクを交換することがございます。これらハードディスク内のデータはお客さまの秘密情報として適切な管理を行い、第三者に開示、漏えい、公表することはございません。

さくいん

の項目は、画面で見る『操作マニュアル』の「索引・用語集」をご覧ください。

デスクトップの 操作マニュアル をダブルクリックしてください。

さくいん

さくいん

さくいん

● Microsoftとそのロゴ、Windows、Windows Vista、Windowsロゴ、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
● Intel、Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。
● PhoenixBIOSは、Phoenix Technologies Ltd.の 商標または登録商標です。
● SDHCロゴは商標です。
● Adobe、Adobeロゴ、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
● McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
● ホイールパッドは、松下電器産業株式会社の登録商標です。

重要なお知らせ
● お客さまの使用誤り、その他異常な条件下での使用により生じた損害、および本機の使用または使用不能から生ずる付随的な損害について、当社は一切責任を負いません。
● 本機は、医療機器、生命維持装置、航空交通管制機器、その他人命にかかわる機器/装置/システムでの使用を意図しておりません。本機をこれらの機器/装置/システムなどに使用され生じた損害について、当社は一切責任を負いません。
● お客さままたは第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障/修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化/消失するおそれがあります。大切なデータおよびソフトウェアを思わぬトラブルから守るために、「使用上のお願い」および「使用・保管・お手入れについて」（➜ 17～21ページ）の内容に注意してください。

● 本書の内容に関しましては、事前に予告なしに変更することがあります。
● 本書の内容の一部またはすべてを無断転載することを禁止します。
● 落丁、乱丁はお取り換えします。
● 本書のサンプルで使われている氏名、住所などは架空のものです。
● 本書のイラストや画面は一部実際と異なる場合があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 本装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じる場合があります。
● 漏えい電流について、この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

日本国内で無線LANをお使いになる場合のお願い
この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器の他工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ、ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときには、ご相談窓口にお問い合わせください。

この機器が､2.4 GHz周波数帯（2400から2483.5 MHz）を使用する直接拡散（DS）方式/直交周波数分割多重変調（OF）の無線装置で、干渉距離が約40 mであることを意味します。

5 GHz帯の無線LANをお使いになる場合のお願い
5 GHz帯の無線LANは、電波法の規制により、屋外で使用できません。また、日本国外では使用できません。（➜ 85ページ）

この記号はヨーロッパ連合内でのみ有効です。
本製品を廃棄したい場合は、日本国内の法律等に従って廃棄処理をしてください。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリおよび複写機などのオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

愛情点検	長年ご使用のパソコンの点検を！
	こんな症状はありませんか • 異常な音やにおいがする • 水や異物が入った → このような症状のときは故障や事故防止のため、電源を切って電源プラグを抜き、その後バッテリーパックを取り外して、必ずご相談窓口に点検をご依頼ください。

松下電器産業株式会社　IT プロダクツ事業部

〒570-0021　大阪府守口市八雲東町一丁目10番12号

この取扱説明書は、再生紙を使用しています。
Printed in Japan

SS0407-0
DFQW5066ZA